

令和5年度 外国人看護師候補者受入れ施設巡回訪問実施結果について

I. 目的・手段

公益社団法人国際厚生事業団（以下、「JICWELS」という。）は、EPAによる外国人看護師候補者・特例看護師候補者の受入れ状況の確認、就労・研修に関する助言を行うため、巡回訪問を実施した。令和5年度においては、受入れ体制、研修体制、候補者の現状等を把握するため、オンライン又は施設での面談及び質問票を用いて実施した。

II. 実施対象

看護師候補者受入れ施設：40施設

看護師候補者：136名

III. 実施期間

令和5年7月12日から令和6年1月24日迄

IV. 巡回訪問実施内容

1. 質問内容

(1) 受入れ責任者及び担当者への質問

受入れ責任者及び受入れ担当者に面談のうえ、主に以下の事項について確認。

- ・ 労務管理状況（賃金の支払い、同等額以上報酬の遵守状況、安全衛生教育 等）
- ・ 年次有給休暇の管理状況確認
- ・ 研修経費の状況（補助金申請額、研修費用用途 等）
- ・ 健康診断実施の有無（発見された病気の把握と対応状況）
- ・ ストレスチェック実施の有無
- ・ 職場・生活適応状況（緊急連絡先の把握、事故発生の有無、ホームシックの有無 等）
- ・ 手続き関係（社会保険の加入、外国人雇用状況の届出 等）
- ・ 候補者受入れによる影響（サービスの質、職場や利用者への影響 等）
- ・ 受入れ施設からの各候補者の現状（労務・慣行等への順応、住居把握 等）
- ・ EPA以外の外国人材雇用の有無
- ・ 新型コロナウイルスによる影響の有無

(2) 研修責任者への質問

ア. 研修責任者、日本語学習指導者に面談のうえ、主に以下の事項について確認

- ・ 看護就労研修の状況（業務内容、就労状況 等）
- ・ 日本語研修の取組み状況（研修時間、学習方法 等）
- ・ 国家試験対策の取組み状況（研修時間、学習方法 等）
- ・ 研修支援等に関する受入れ施設からの要望 等

イ．遠隔での日本語指導を実施の上、研修の進捗状況について助言・指導

(3) 看護師候補者への質問

看護師候補者に面談のうえ、以下の事項について確認

- ・ 職場適応状況（職場でのコミュニケーション、日本語習熟状況 等）
- ・ 労務管理（賃金明細の理解、労働条件の理解 等）
- ・ 健康状況（健康管理、食事管理、体調管理 等）
- ・ 身分証の管理（パスポートの保管状況、在留カードの携帯状況 等）
- ・ メンタルヘルス（職場での悩み、不安に感じている事柄の有無 等）

2. 受入れ責任者及び担当者への確認

(1) 労務管理及び手続関係について

① 同等額以上報酬の確認について

全施設について、日本人と同等の報酬が支払われていることを賃金台帳、給与明細、俸給表等で確認した。

② 市区町村の居住地変更手続きについて

全施設について、候補者の居住地変更手続きが済んでいることを確認した。

③ 社会保険（厚生年金保険・健康保険）の加入手続きについて

全施設について、賃金台帳等を参照し、社会保険（厚生年金保険・健康保険）の加入手続きが済んでいることを確認した。

④ 雇用保険の加入手続きについて

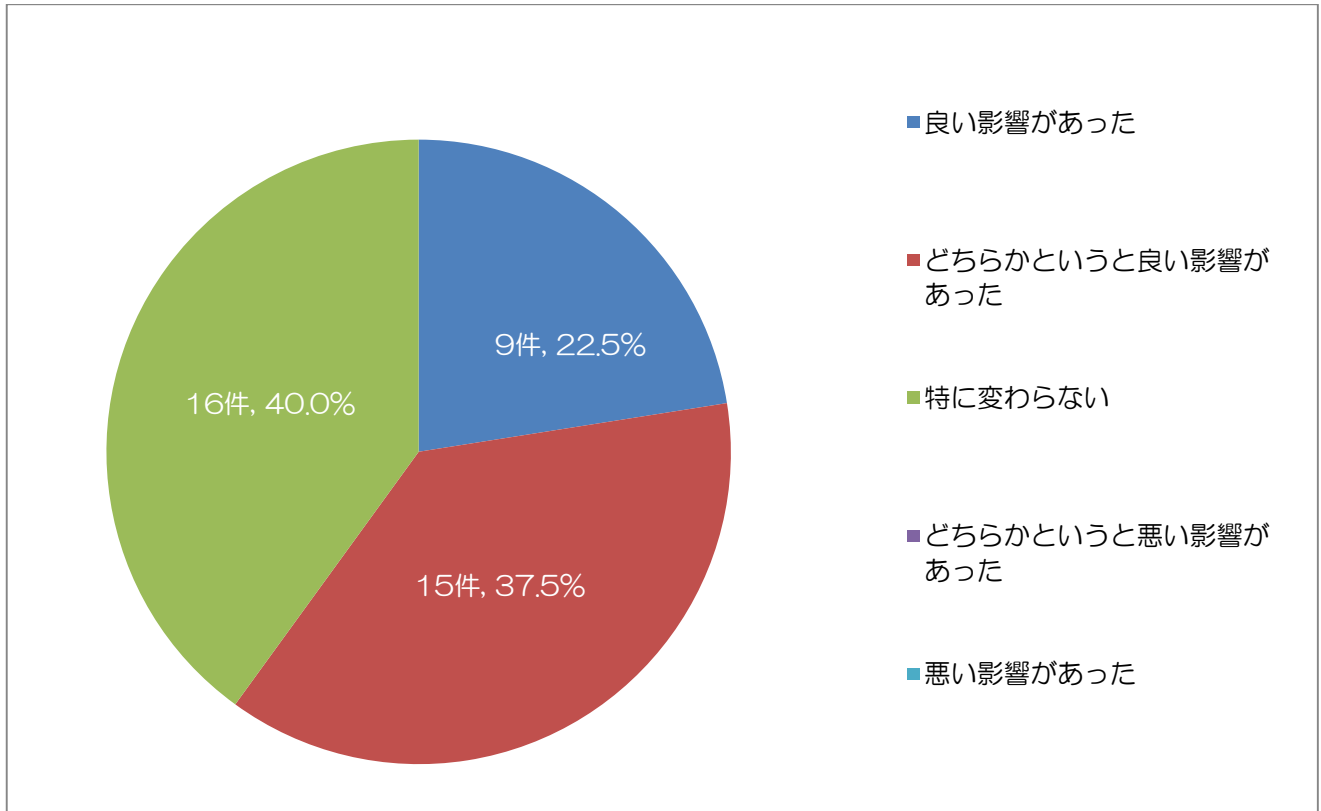
全施設について、賃金台帳及び雇用保険被保険者資格取得等確認通知書を参照し、雇用保険の加入手続きが済んでいることを確認した。

(2) 候補者受入れによる施設への影響について

①日本人職員への影響について

「日本人職員への影響」について質問したところ、「良い影響があった」9件、「どちらかというの良い影響があった」15件、「特に変わらない」16件、「どちらかというの悪い影響があった」0件、「悪い影響があった」0件という回答があった。(図 1-1)

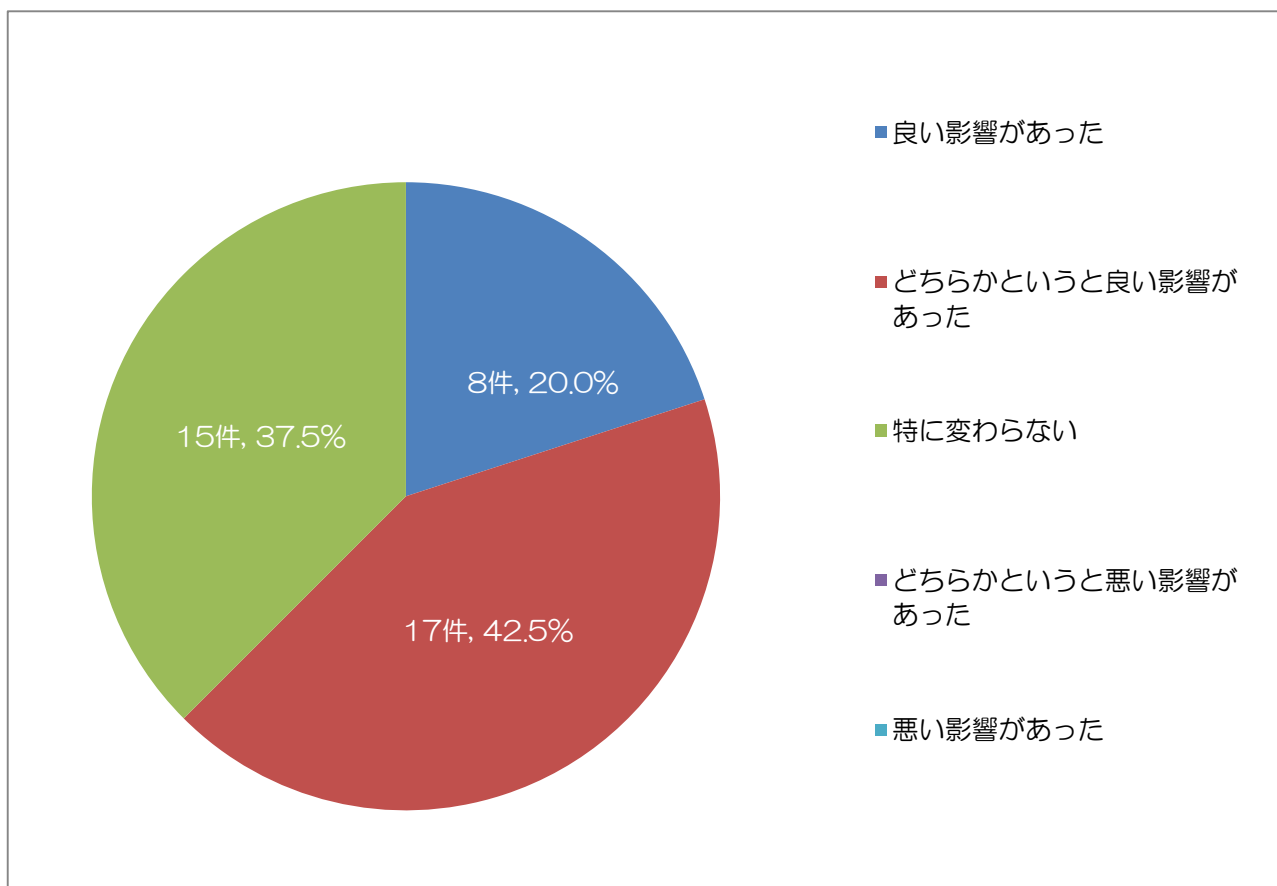
(図 1-1) 日本人職員への影響について



②職場環境への影響について

「職場環境への影響」について質問したところ、「良い影響があった」8件、「どちらかというの良い影響があった」17件、「特に変わらない」15件、「どちらかという悪い影響があった」0件、「悪い影響があった」0件という回答があった。（図1-2）。

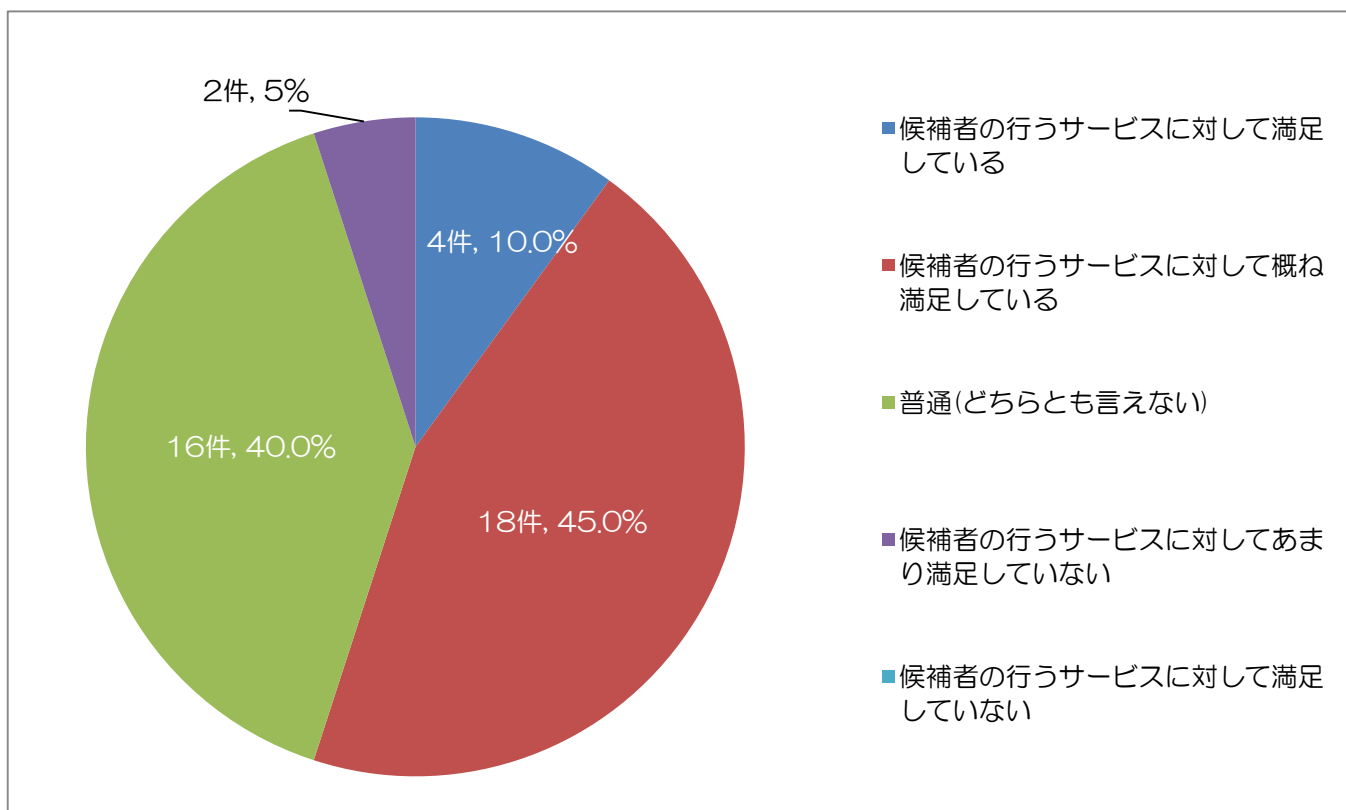
（図1-2） 職場環境への影響について



③患者・利用者への影響について

「患者・利用者への影響」について質問したところ、「候補者の行うサービスに対して満足している」4件、「候補者の行うサービスに対して概ね満足している」18件、「普通（どちらとも言えない）」16件、「候補者の行うサービスに対してあまり満足していない」2件、「候補者の行うサービスに対して満足していない」0件という回答があった。（図 1-3）

（図 1-3）患者・利用者への影響について

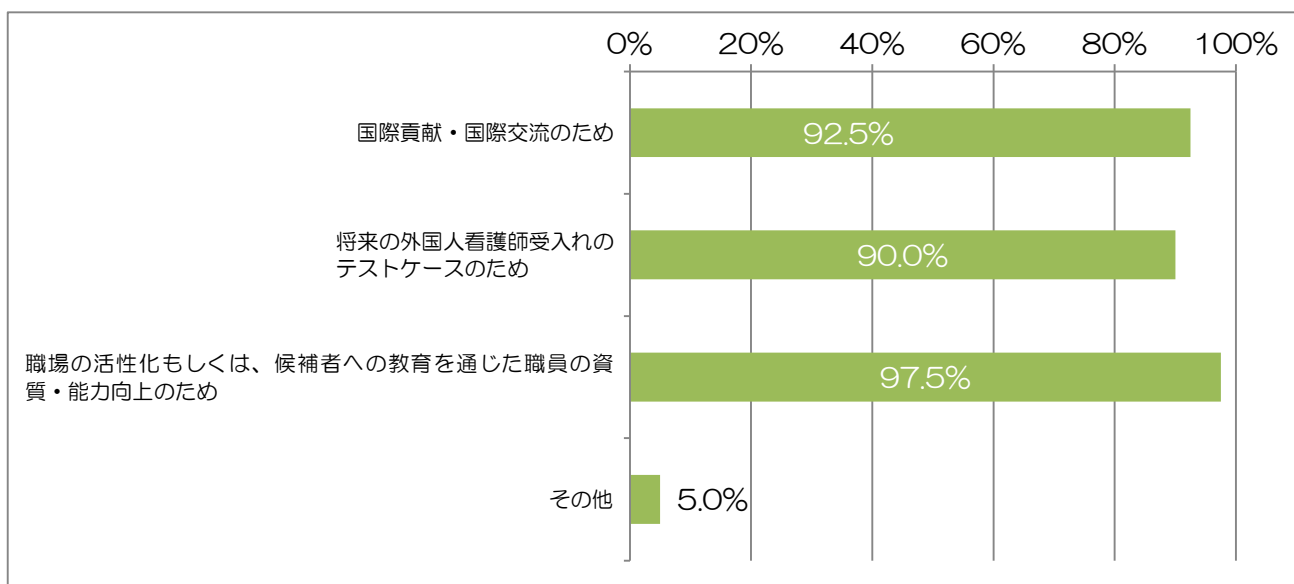


(3) EPA 候補者の受入れ目的及び今後の受入れについて

①EPA 候補者の受入れ目的について

「EPA 候補者の受入れ目的」について質問したところ、「国際貢献・国際交流のため」37件、「将来の外国人看護師受入れのテストケースのため」36件、「職場の活性化もしくは、候補者への教育を通じた職員の資質・能力向上のため」39件、「その他」2件という回答があった。(図 1-4)

(図 1-4) 候補者の受入れ目的について (複数回答)



国際貢献・国際交流のため	37件(92.5%)
将来の外国人看護師受入れのテストケースのため	36件(90.0%)
職場の活性化もしくは、候補者への教育を通じた職員の資質・能力向上のため	39件(97.5%)
その他 ¹	2件(5.0%)

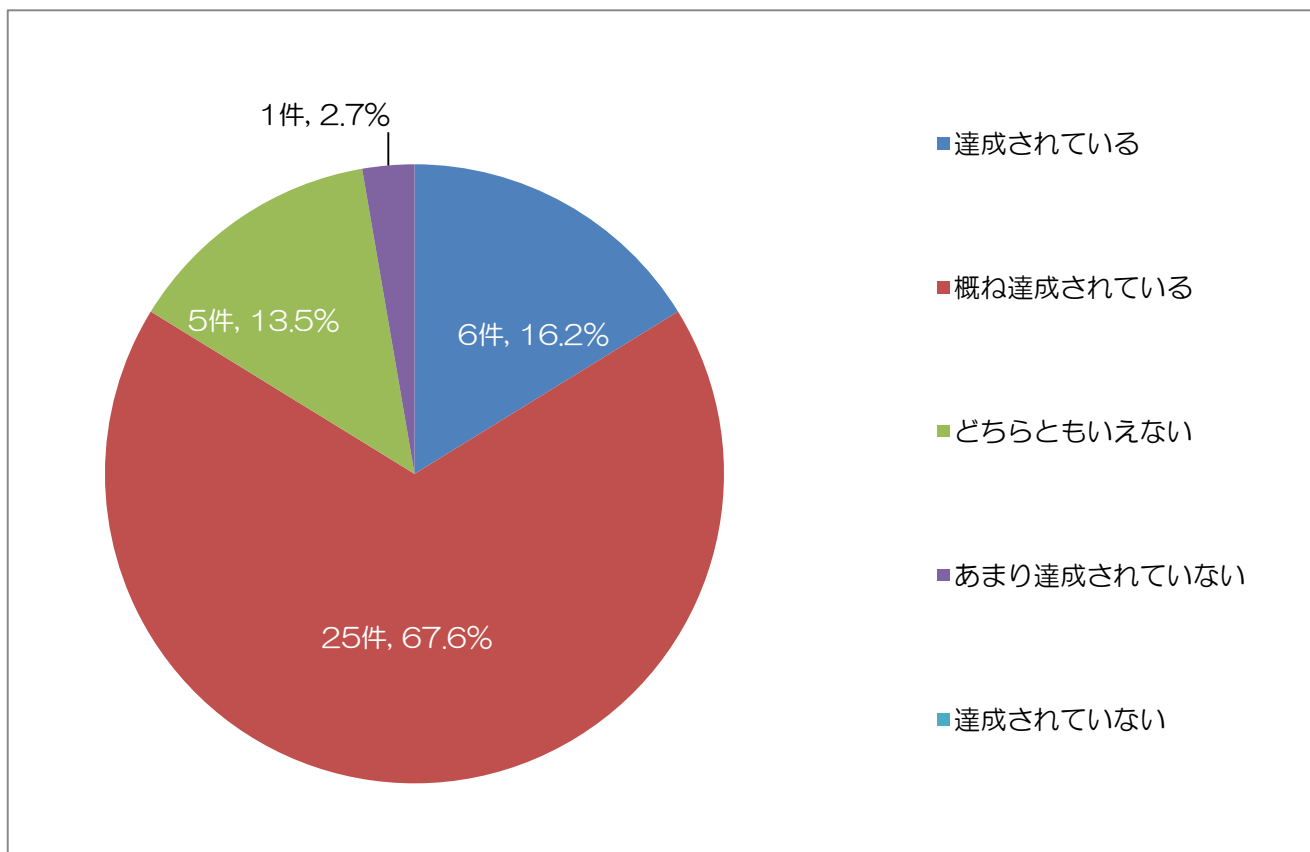
¹ その他の回答には「社会貢献」「将来の看護師不足に備えるため」と回答があった。

②候補者受入れ目的の達成度について

ア. 国際貢献・国際交流のため²

「国際貢献・国際交流」について質問したところ、「達成されている」6件、「概ね達成されている」25件、「どちらともいえない」5件、「あまり達成されていない」1件、「達成されていない」0件という回答があった。(図1-5)

(図1-5) 国際貢献・国際交流のため

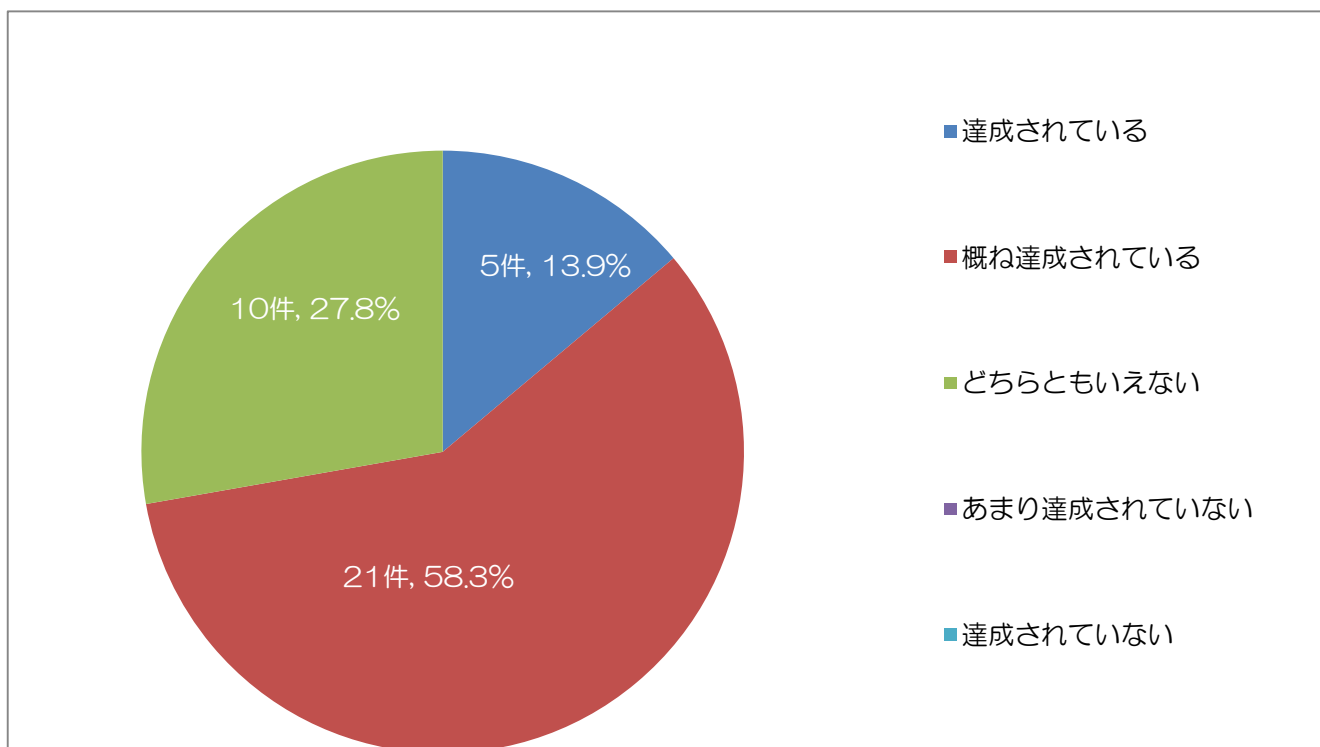


² 候補者の受入れ目的について「国際貢献・国際交流のため」と回答した37件を母数としている。

イ. 将来の外国人看護師受入れのテストケースとして³

「将来の外国人看護師受入れのテストケース」について質問したところ、「達成されている」5件、「概ね達成されている」21件、「どちらともいえない」10件、「あまり達成されていない」0件、「達成されていない」0件という回答があった。(図 1-6)

(図 1-6) 将来の外国人看護師受入れのテストケースとして

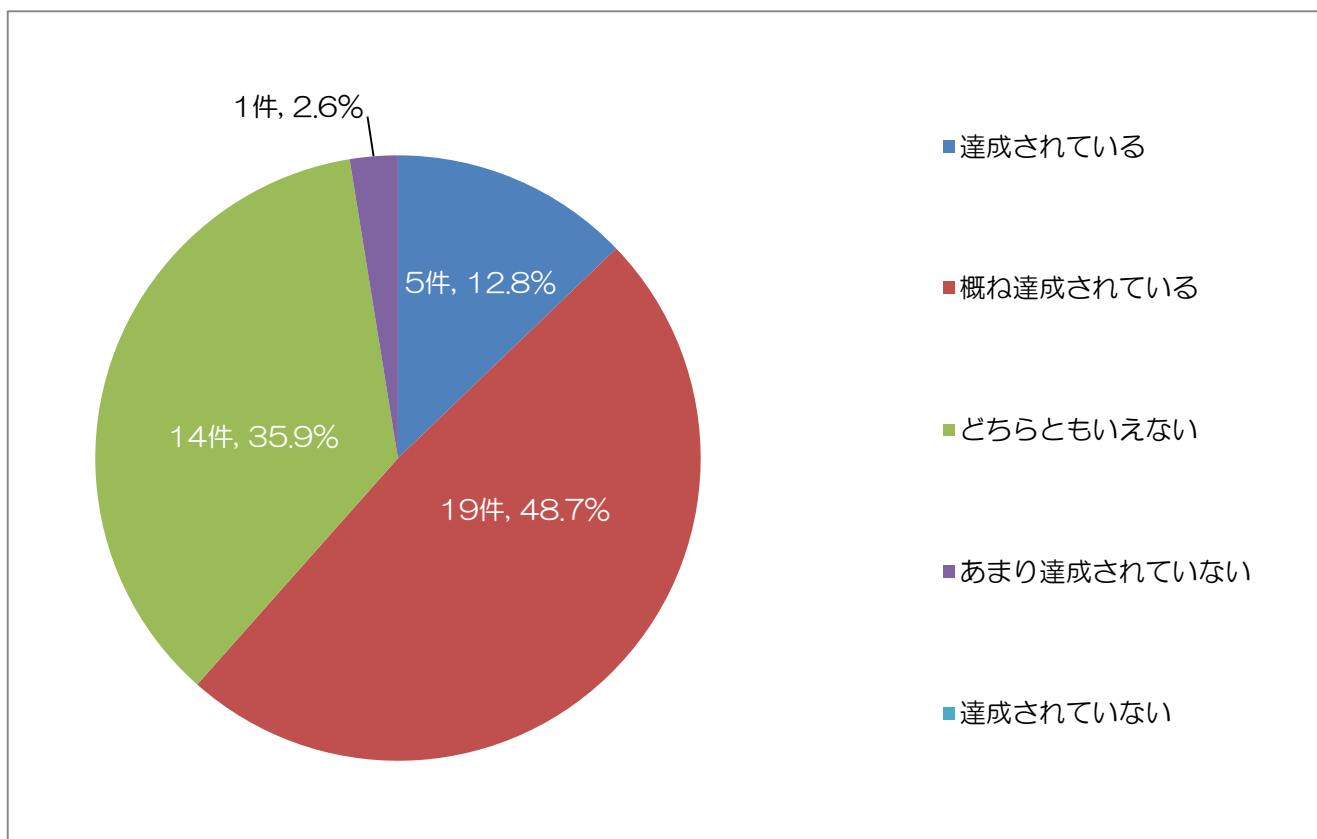


³ 候補者の受入れ目的について「将来の外国人介護士の受入れのテストケースのため」と回答した 36 件を母数としている。

ウ. 職場の活性化のため⁴

「職場の活性化」について質問したところ、「達成されている」5件、「概ね達成されている」19件、「どちらともいえない」14件、「あまり達成されていない」1件、「達成されていない」0件という回答があった。(図 1-7)

(図 1-7) 職場の活性化のため

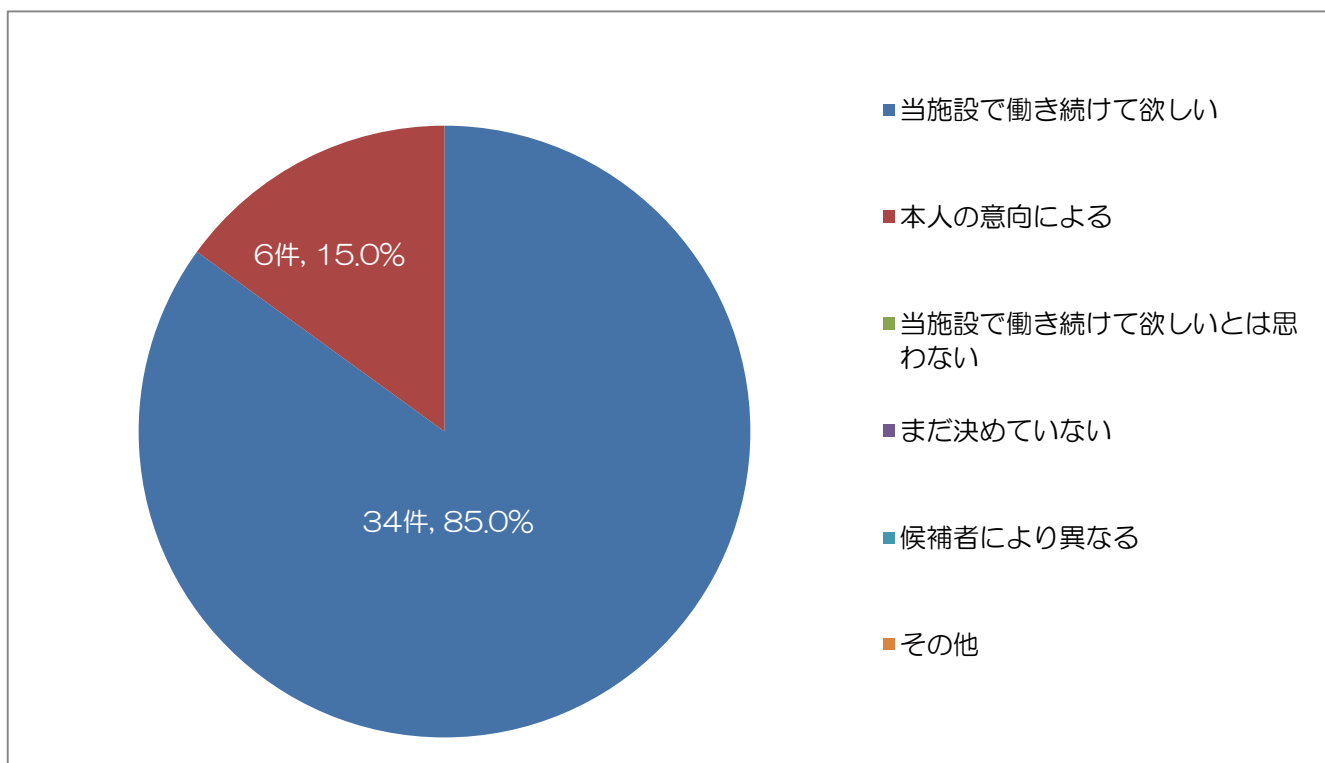


⁴ 候補者の受入れ目的について「職場の活性化のため」と回答した 39 件を母数としている。

③国家試験合格後の処遇について

「国家試験合格後の候補者の処遇」について質問したところ、「当施設で働き続けて欲しい」34件、「本人の意向による」6件、「当施設で働き続けて欲しいとは思わない」0件、「まだ決めていない」0件、「候補者により異なる」0件、「その他」0件という回答があった。(図1-9)

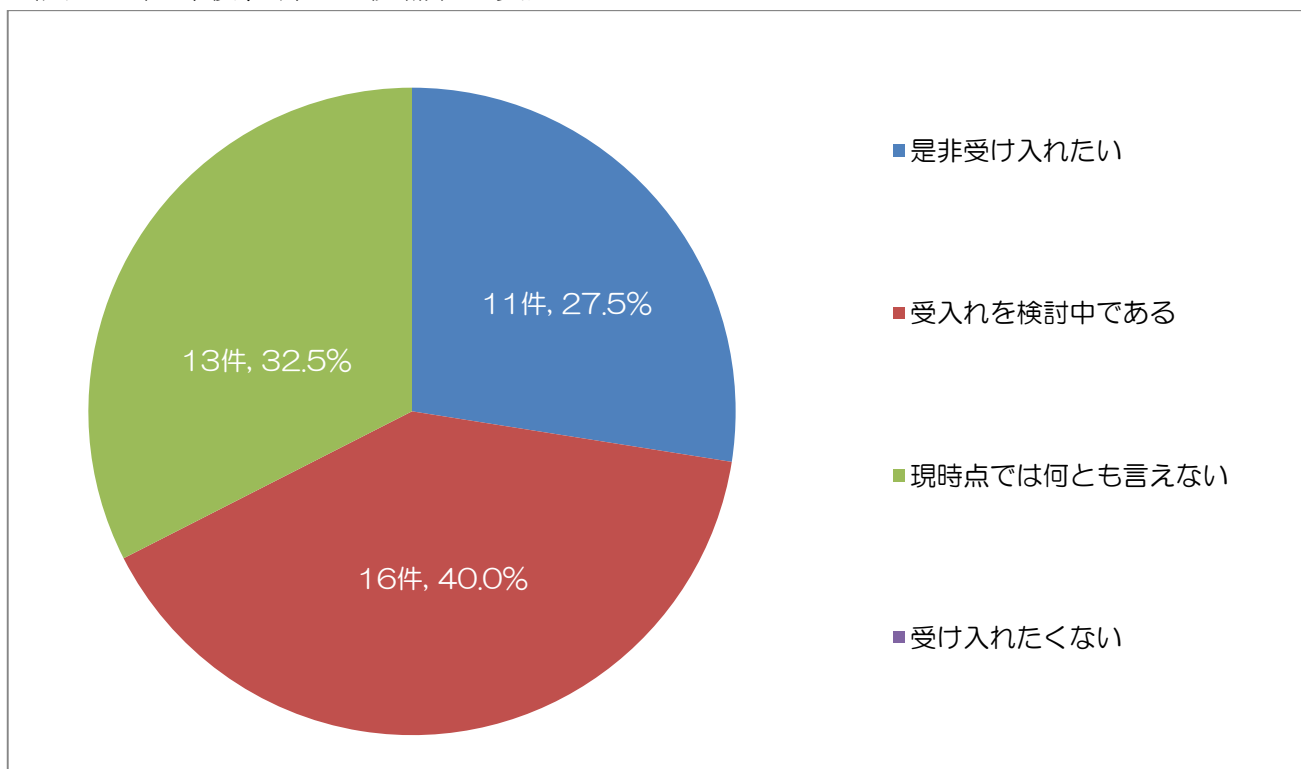
(図1-9) 国家試験合格後の処遇について



④新たな候補者の受入れについて

「新たな候補者の受入れ」について質問したところ、「是非受け入れたい」11件、「受入れを検討中である」16件、「現時点では何とも言えない」13件、「受け入れたくない」0件という回答があった。(図 1-10)

(図 1-10) 今後、新たな候補者の受入れについて

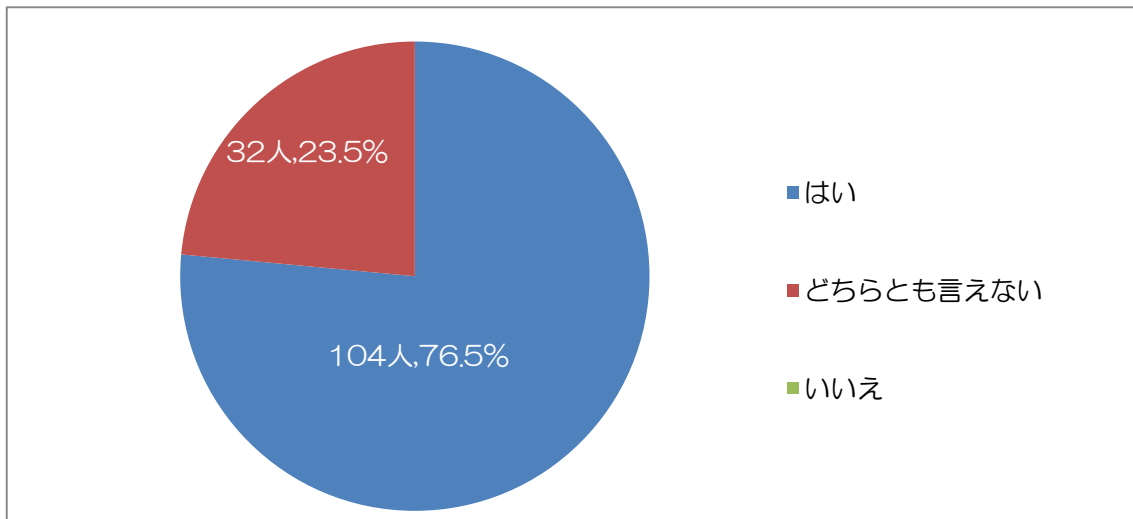


(4) 各候補者の職場適応について

①風俗習慣、雇用慣行等の順応について

「風俗習慣、雇用慣行等の順応」について質問したところ、「はい」104人、「どちらとも言えない」32人、「いいえ」0人という回答があった。(図 1-11)

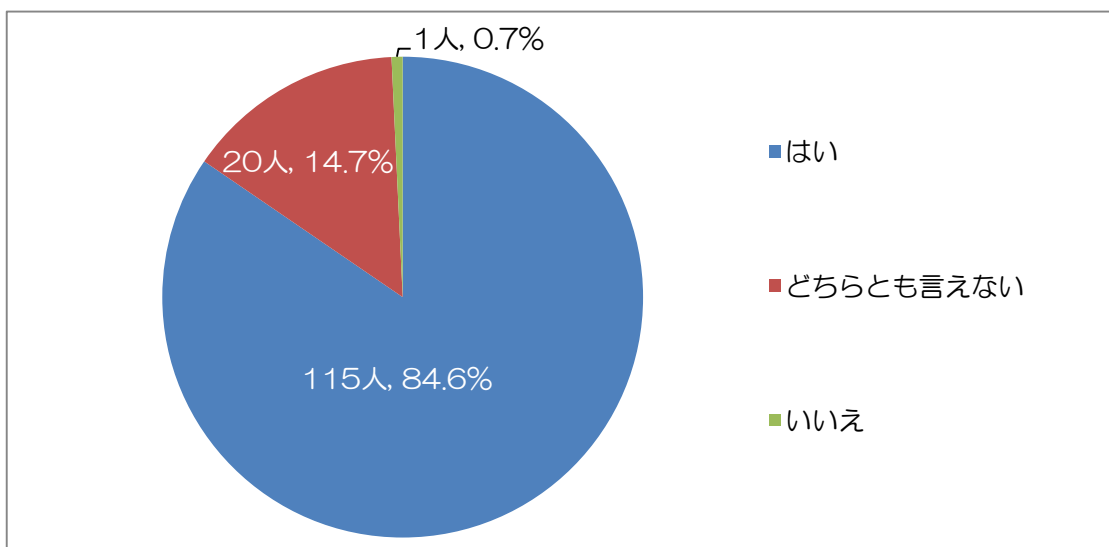
(図 1-11) 風俗習慣、雇用慣行等の順応について



②従業員や職場への協調

「従業員や職場への協調」について質問したところ、「はい」115人、「どちらとも言えない」20人、「いいえ」1人という回答があった。(図 1-12)

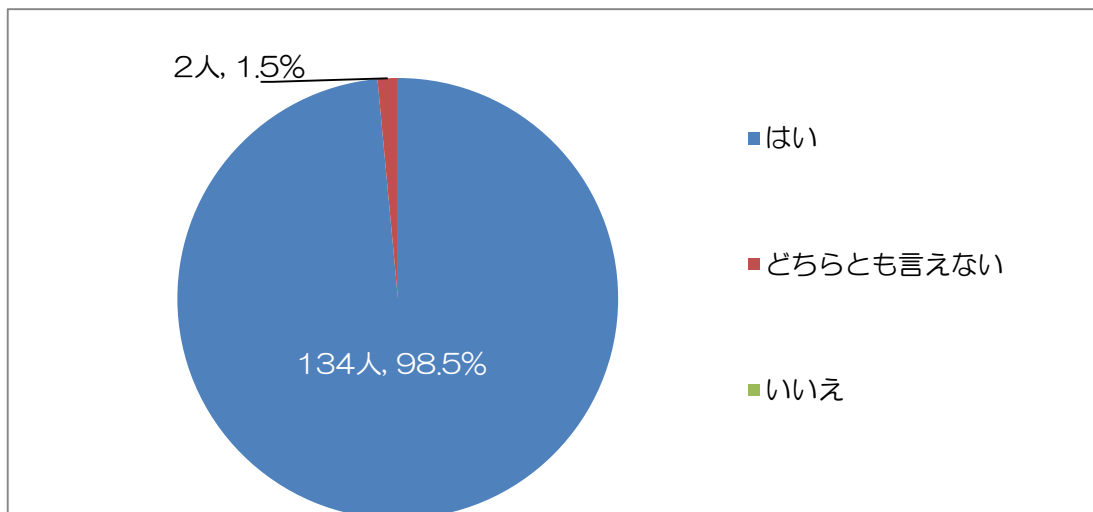
(図 1-12) 他の従業員との協調について



③就業規則等の規律の遵守について

「候補者は、欠勤、遅刻等はなく、規律を遵守していますか」と質問したところ、「はい」134人、「どちらとも言えない」2人、「いいえ」0人という回答があった。

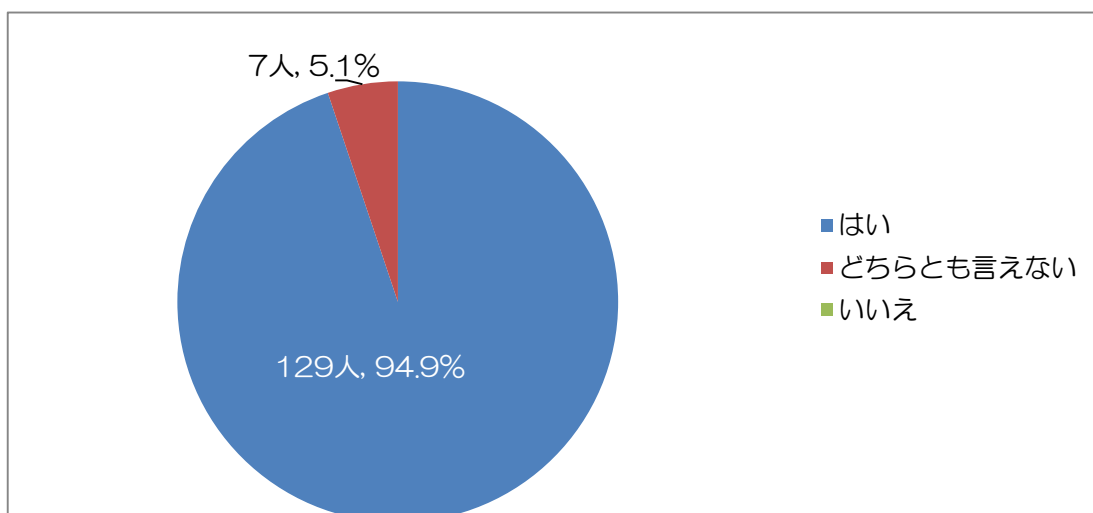
(図 1-13) 就業規則等の規律の遵守について



④精神的・経済的な自立について

「候補者は、生活環境の変化、制約等の中で精神的・経済的に自立していますか」と質問したところ、「はい」129人、「どちらとも言えない」7人、「いいえ」0人という回答があった。(図 1-14)

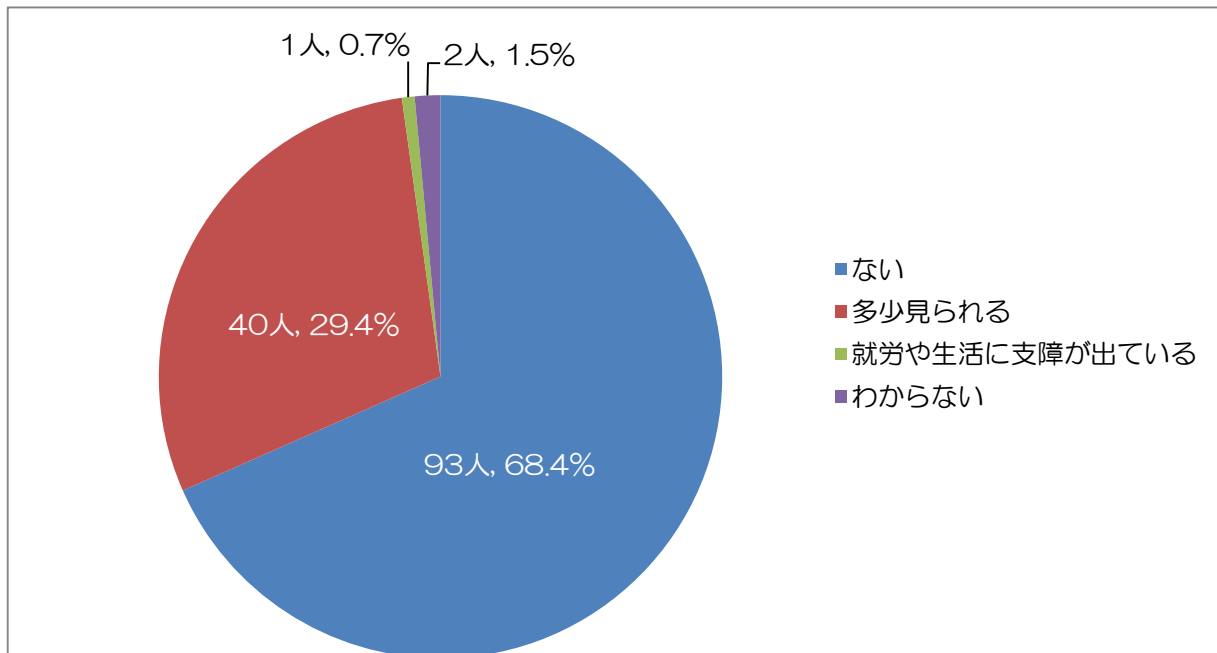
(図 1-14) 精神的・経済的な自立について



⑤ホームシック等の情緒不安定な様子の有無について

「候補者に、気分が落ち込む、ホームシック等、情緒不安定な様子がありますか」と質問したところ、「ない」93人、「多少見られる」40人、「就労や生活に支障が出ている」1人、「わからない」2人という回答があった。(図 1-15)

(図 1-15) ホームシック等の情緒不安定な様子の有無について

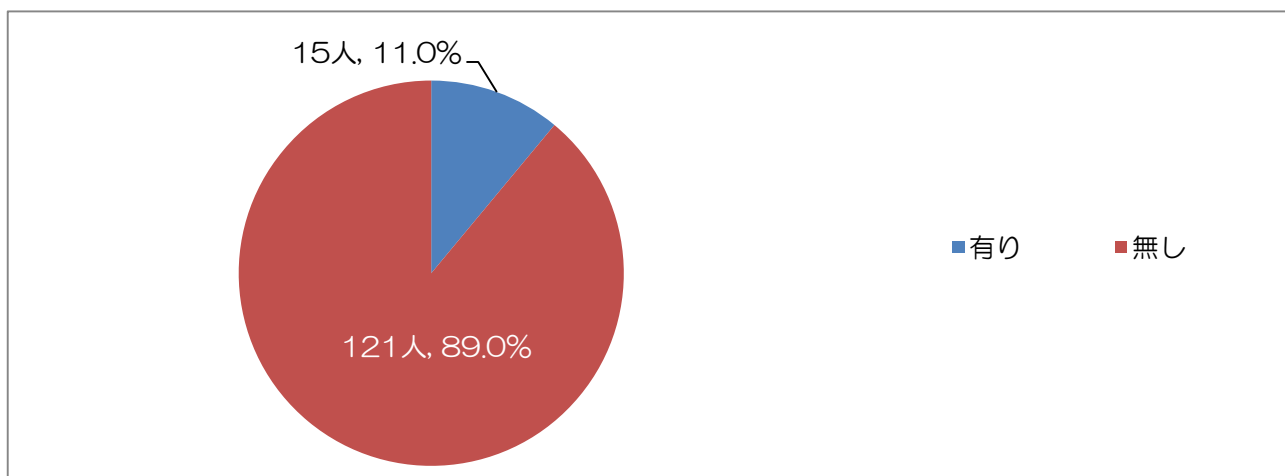


(5) 所定時間外労働（直近の1ヵ月）の有無について

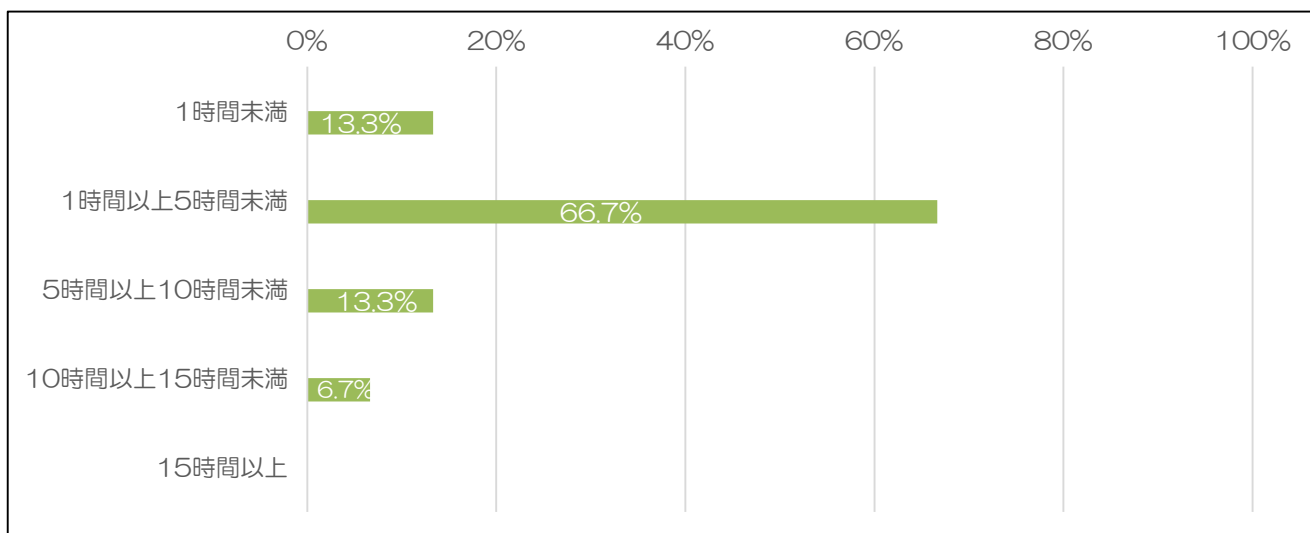
直近1ヵ月の所定時間外労働の有無について質問したところ、「有り」15人、「無し」121人という回答があった（図1-16）。

また、「有り」と回答した場合、直近1ヵ月の所定時間外労働の時間数について質問したところ、「1時間未満」2人、「1時間以上5時間未満」10人、「5時間以上10時間未満」2人、「15時間以上」1人という回答があった。（図1-17）

(図1-16) 所定時間外労働（直近の1ヵ月）の有無について



(図1-17) 所定時間外労働（直近の1ヵ月）の内訳について

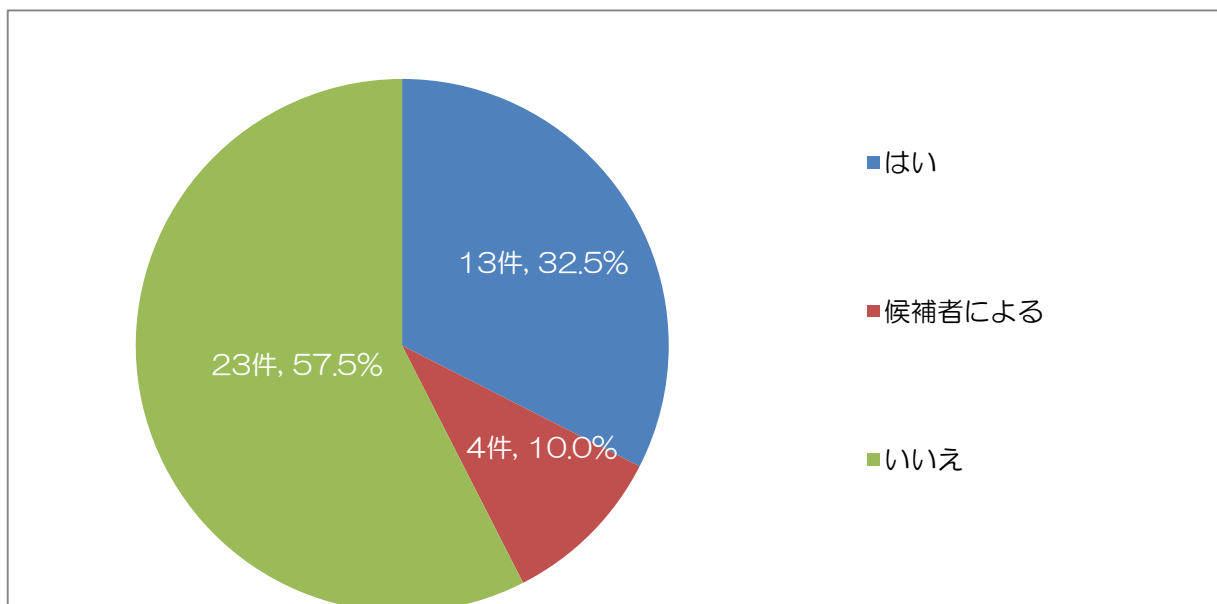


1時間未満	2人(13.3%)
1時間以上5時間未満	10人(66.7%)
5時間以上10時間未満	2人(13.3%)
10時間以上15時間未満	1人(6.7%)
15時間以上	0人(0.0%)

(6) 各候補者の住居施設について⁵

「住居施設」について、「他の候補者・合格者と共同生活しているか」と質問したところ、「はい」13件、「いいえ」23件、「候補者による」4件、という回答があった。(図 1-18)

(図 1-18) 共同生活の状況について

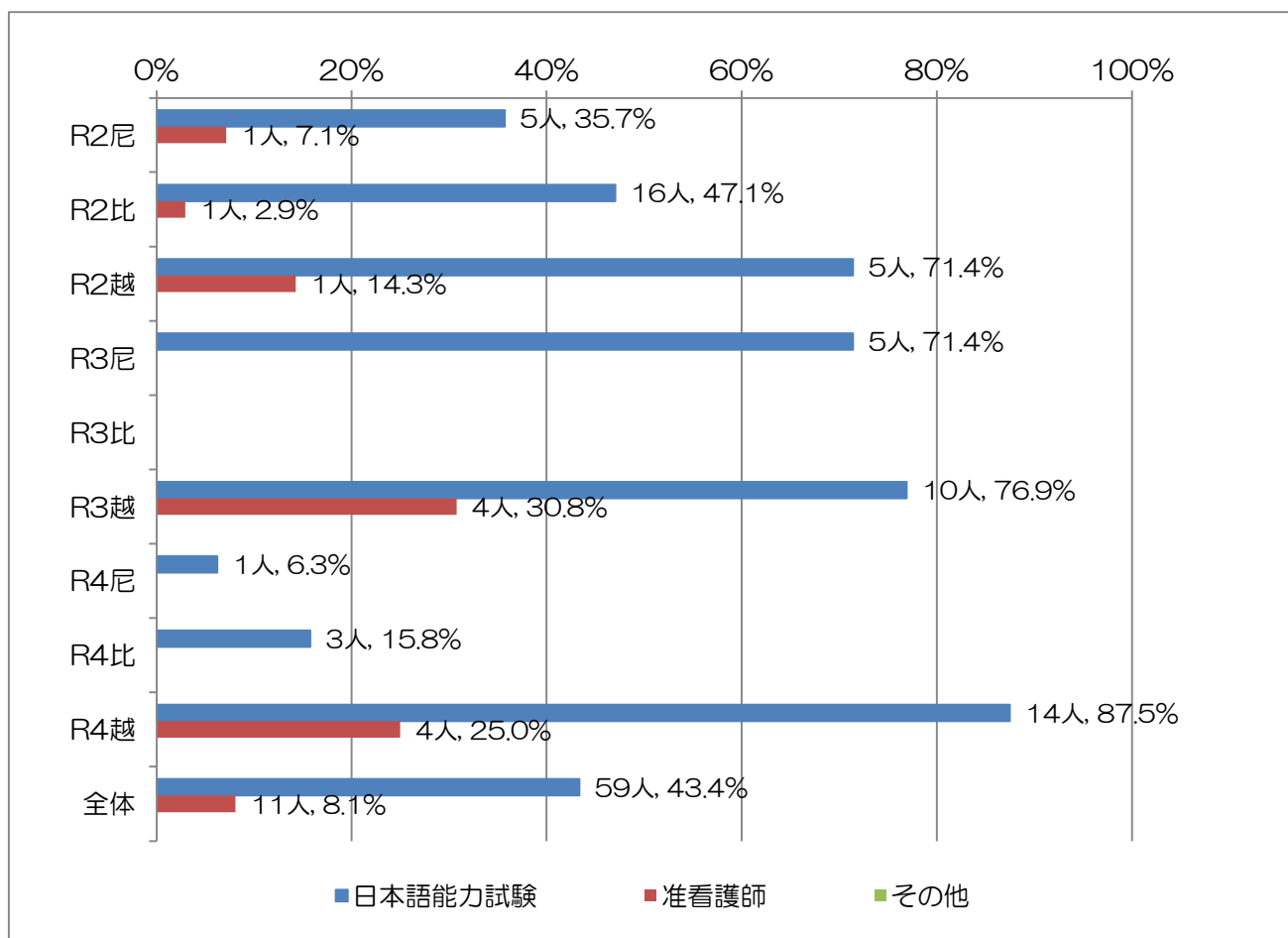


⁵ 本設問は施設ごとに伺っている為、施設数（40件）を母数としている。

(7) 各候補者が有する資格について

「候補者の有する資格」について質問したところ、「日本語能力試験」59人、「准看護師資格」11人という回答があった。(図1-19)

(図1-19) 候補者が有する資格について (複数回答)



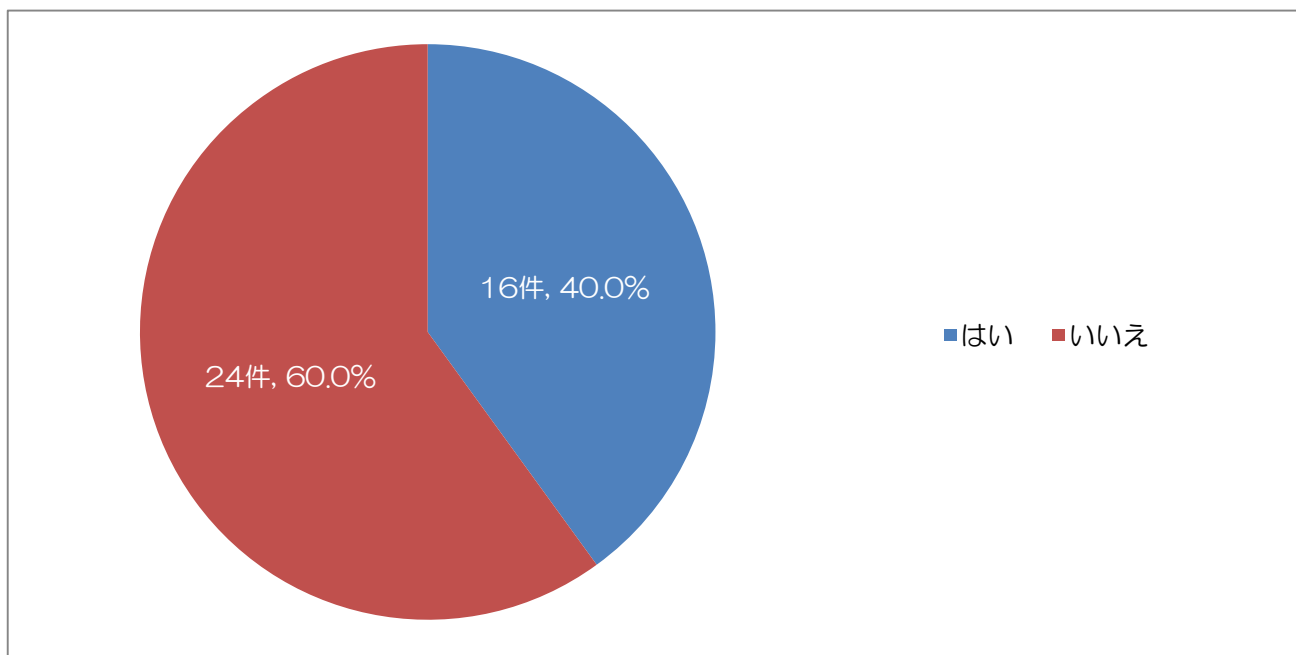
項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体
日本語能力試験	5人 (35.7%)	16人 (47.1%)	5人 (71.4%)	5人 (71.4%)	0人 (0.0%)	10人 (76.9%)	1人 (6.3%)	3人 (15.8%)	14人 (87.5%)	59人 (43.4%)
准看護師	1人 (7.1%)	1人 (2.9%)	1人 (14.3%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	4人 (30.8%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	4人 (25.0%)	11人 (8.1%)
その他	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)

(8) コロナウイルス感染症の影響について

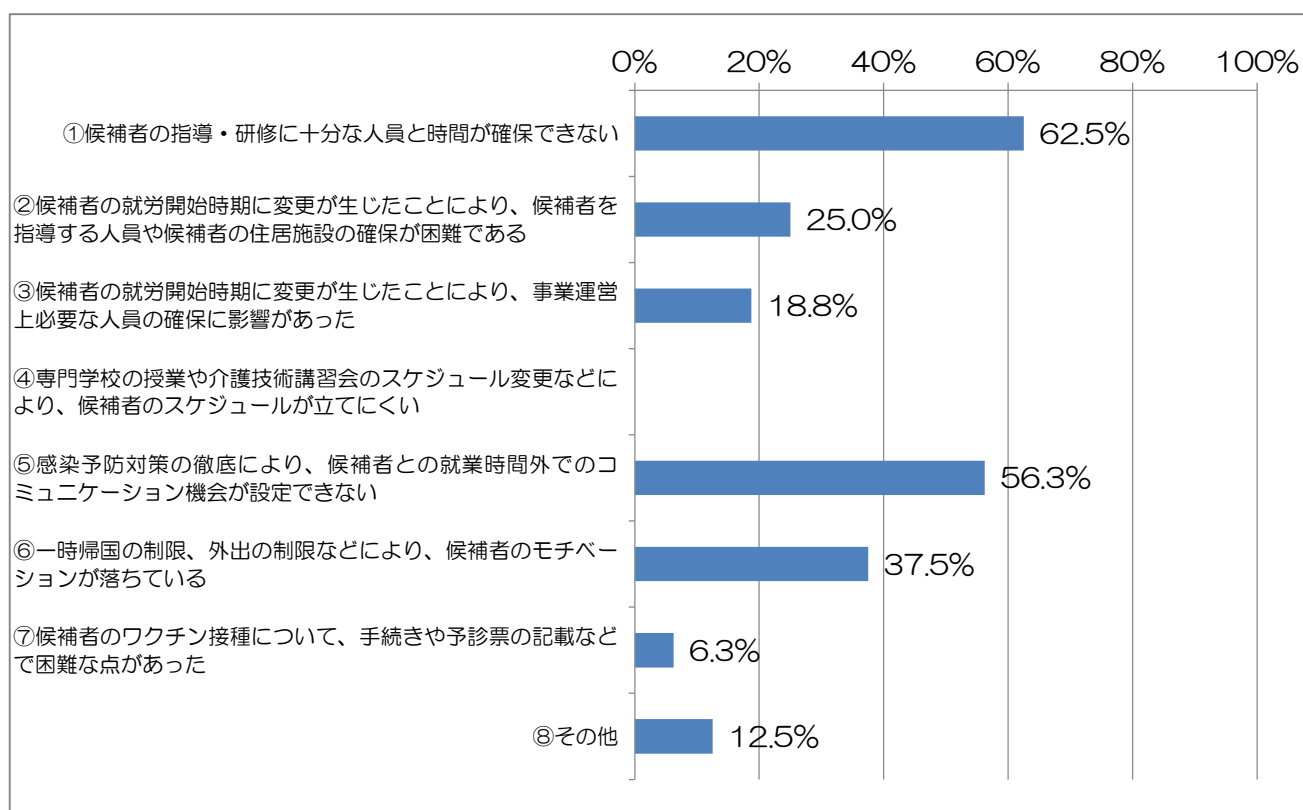
「新型コロナウイルス感染症の影響」について受入れに関する課題が生じているか質問したところ「はい」16件、「いいえ」24件という回答があった。(図 1-20)

また、「はい」と回答した場合、具体的にどのような課題が生じているか質問したところ、「候補者の指導・研修に十分な人員と時間が確保できない」10件、「候補者の就労開始時期に変更が生じたことにより、候補者を指導する人員や候補者の住居施設の確保が困難である」4件、「候補者の就労開始時期に変更が生じたことにより、事業運営上必要な人員の確保に影響があった」3件、「感染予防対策の徹底により、候補者との就業時間外でのコミュニケーション機会が設定できない」9件、「一時帰国の制限、外出の制限などにより、候補者のモチベーションが落ちている」6件、「候補者のワクチン接種について、手続きや予診票の記載などで困難な点があった」1件、「その他」2件という回答があった。(図 1-21)

(図 1-20) 新型コロナウイルス感染症の影響により、受入れに関する課題が生じているか



(図 1-21) 受け入れに関する課題について (複数回答)



①候補者の指導・研修に十分な人員と時間が確保できない	10 件 (62.5%)
②候補者の就労開始時期に変更が生じたことにより、候補者を指導する人員や候補者の住居施設の確保が困難である	4 件 (25.0%)
③候補者の就労開始時期に変更が生じたことにより、事業運営上必要な人員の確保に影響があった	3 件 (18.8%)
④専門学校の授業や介護技術講習会のスケジュール変更などにより、候補者のスケジュールが立てにくい	0 件 (0.0%)
⑤感染予防対策の徹底により、候補者との就業時間外でのコミュニケーション機会が設定できない	9 件 (56.3%)
⑥一時帰国の制限、外出の制限などにより、候補者のモチベーションが落ちている	6 件 (37.5%)
⑦候補者のワクチン接種について、手続きや予診票の記載などで困難な点があった	1 件 (6.3%)
⑧その他 ⁶	2 件 (12.5%)

⁶ その他の回答には「参加人数の減少により求人に対するマッチングの成立が難しくなった。」「病棟内でコロナ感染対応により、指導くださる講師への影響を考え休講とせざるを得なく、候補者の研修体制に影響があった。」等の回答があった。

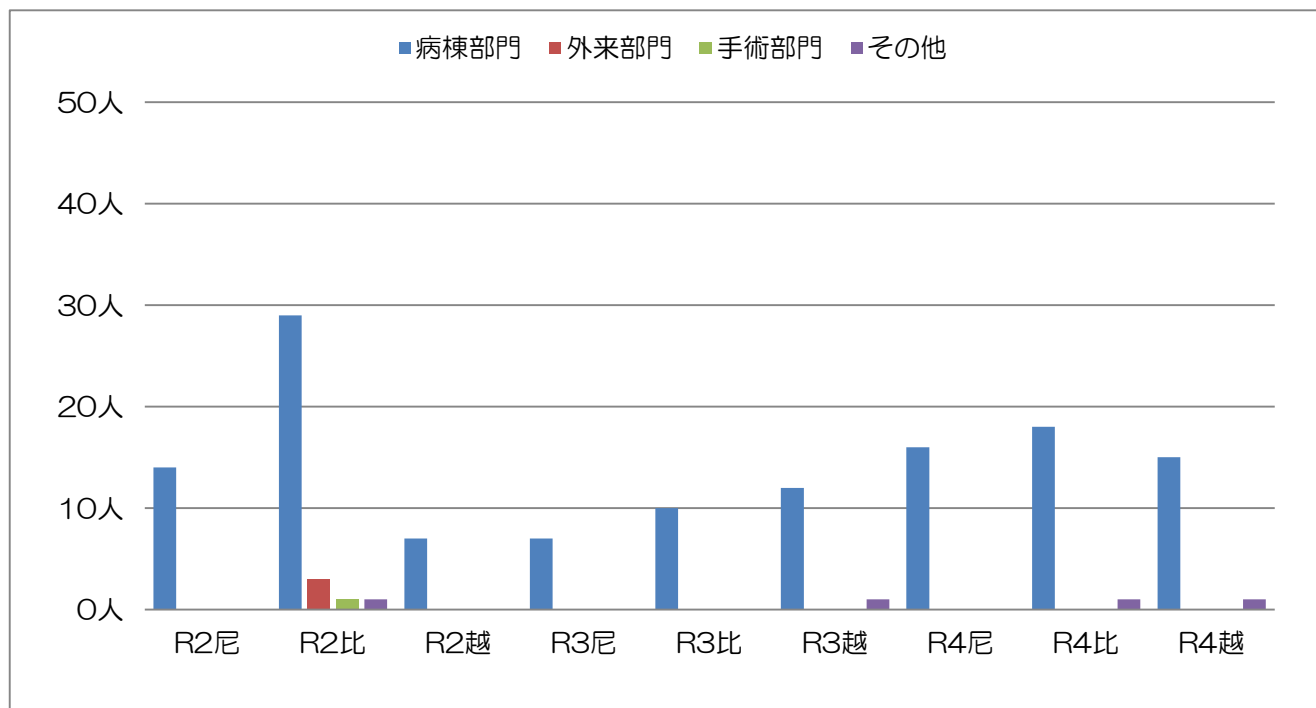
3. 研修責任者への質問（候補者について、研修責任者が回答）

(1) 候補者の業務について

① 候補者の主な配属部門について

「候補者の配属部門」について質問したところ、「病棟部門」128人、「外来部門」3人「手術部門」1人、「その他⁷」4人という回答があった。（図2-1）

（図2-1）候補者の主な配属部門について



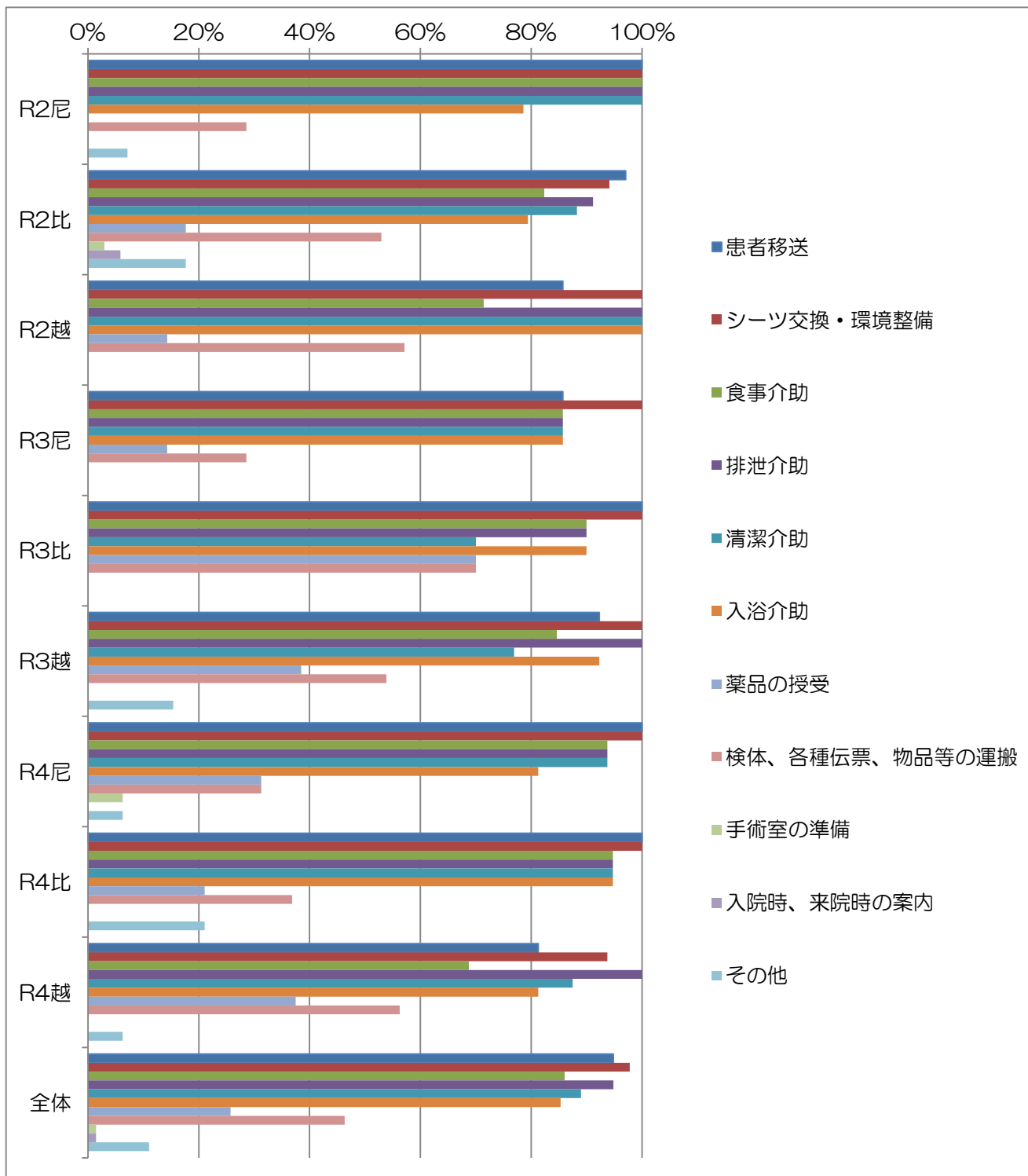
項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体
病棟部門	14人 (100.0%)	29人 (85.3%)	7人 (100.0%)	7人 (100.0%)	10人 (100.0%)	12人 (92.3%)	16人 (100.0%)	18人 (94.7%)	15人 (93.8%)	128人 (94.1%)
外来部門	0人 (0.0%)	3人 (8.8%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	3人 (2.2%)
手術部門	0人 (0.0%)	1人 (2.9%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (5.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (0.7%)
その他	0人 (0.0%)	1人 (2.9%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (7.7%)	0人 (0.0%)	1人 (5.3%)	1人 (6.3%)	4人 (2.9%)

⁷ その他の回答として、「透析部門」「作業療法部門」と回答があった。

②候補者が行っている業務の状況について

「候補者の現在行っている業務の状況」について質問したところ、候補者の90%以上が「患者移送」、「シーツ交換・環境整備」、「排泄介助」を行っていた。(図2-2)

(図2-2) 候補者が行っている業務について (複数回答)



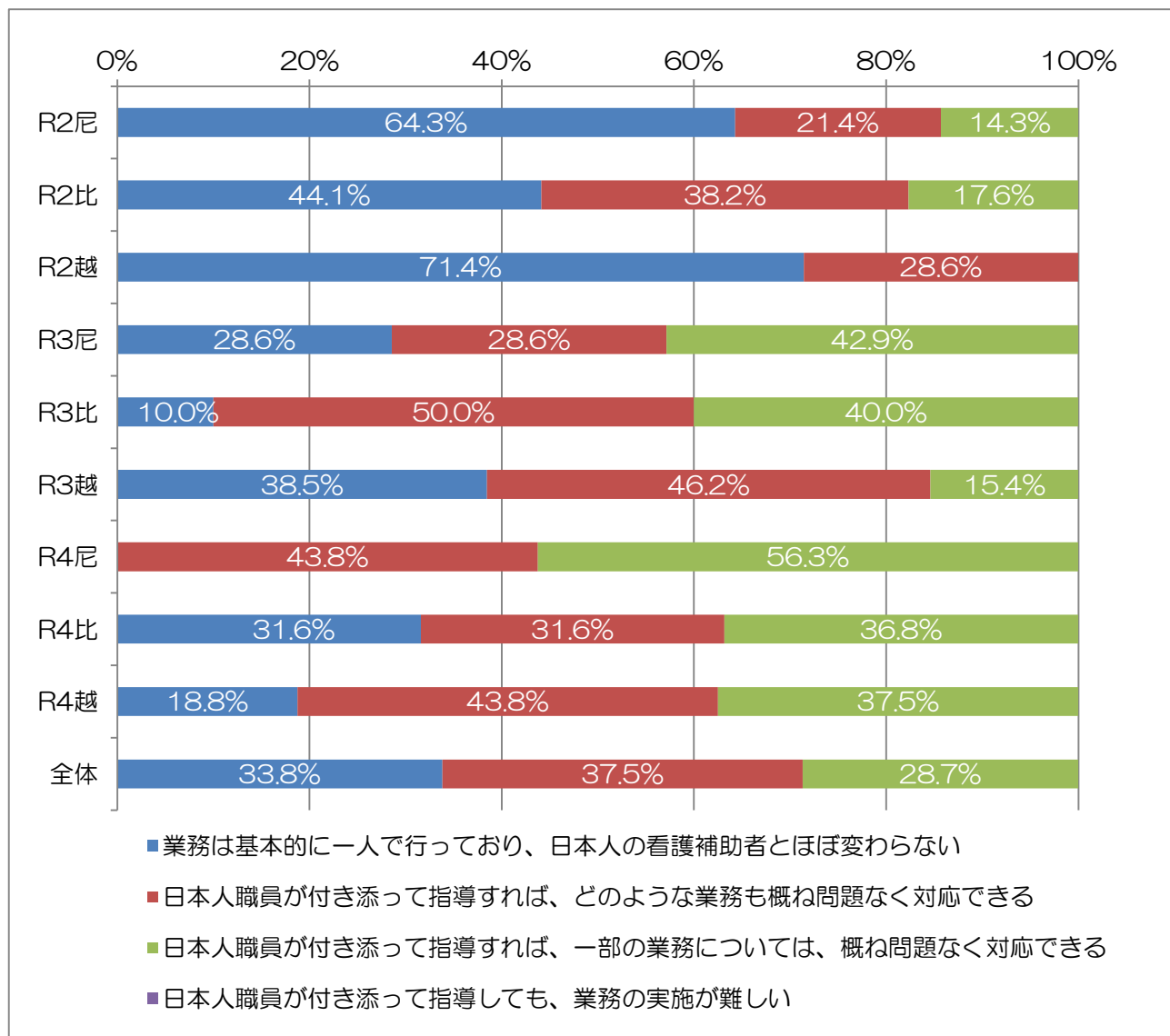
項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体
患者移送	14 人 (100.0%)	33 人 (97.1%)	6 人 (85.7%)	6 人 (85.7%)	10 人 (100.0%)	12 人 (92.3%)	16 人 (100.0%)	19 人 (100.0%)	13 人 (81.3%)	129 人 (94.9%)
シーツ交 換・環境整 備	14 人 (100.0%)	32 人 (94.1%)	7 人 (100.0%)	7 人 (100.0%)	10 人 (100.0%)	13 人 (100.0%)	16 人 (100.0%)	19 人 (100.0%)	15 人 (93.8%)	133 人 (97.8%)
食事介助	14 人 (100.0%)	28 人 (82.4%)	5 人 (71.4%)	6 人 (85.7%)	9 人 (90.0%)	11 人 (84.6%)	15 人 (93.8%)	18 人 (94.7%)	11 人 (68.8%)	117 人 (86.0%)
排泄介助	14 人 (100.0%)	31 人 (91.2%)	7 人 (100.0%)	6 人 (85.7%)	9 人 (90.0%)	13 人 (100.0%)	15 人 (93.8%)	18 人 (94.7%)	16 人 (100.0%)	129 人 (94.9%)
清潔介助	14 人 (100.0%)	30 人 (88.2%)	7 人 (100.0%)	6 人 (85.7%)	7 人 (70.0%)	10 人 (76.9%)	15 人 (93.8%)	18 人 (94.7%)	14 人 (87.5%)	121 人 (89.0%)
入浴介助	11 人 (78.6%)	27 人 (79.4%)	7 人 (100.0%)	6 人 (85.7%)	9 人 (90.0%)	12 人 (92.3%)	13 人 (81.3%)	18 人 (94.7%)	13 人 (81.3%)	116 人 (85.3%)
薬品の授受	0 人 (0.0%)	6 人 (17.6%)	1 人 (14.3%)	1 人 (14.3%)	7 人 (70.0%)	5 人 (38.5%)	5 人 (31.3%)	4 人 (21.1%)	6 人 (37.5%)	35 人 (25.7%)
検体、各種 伝票、物品 等の運搬	4 人 (28.6%)	18 人 (52.9%)	4 人 (57.1%)	2 人 (28.6%)	7 人 (70.0%)	7 人 (53.8%)	5 人 (31.3%)	7 人 (36.8%)	9 人 (56.3%)	63 人 (46.3%)
手術室の準 備	0 人 (0.0%)	1 人 (2.9%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	1 人 (6.3%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	2 人 (1.5%)
入院時、来 院時の案内	0 人 (0.0%)	2 人 (5.9%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	2 人 (1.5%)
その他 ⁸	1 人 (7.1%)	6 人 (17.6%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	2 人 (15.4%)	1 人 (6.3%)	4 人 (21.1%)	1 人 (6.3%)	15 人 (11.0%)

⁸ その他の回答として「新入職介護職員の教育指導」「清掃業務」「外来業務補助」「透析に必要な物品の準備」「血圧測定、内服補助」等の回答があった。

③候補者が行っている業務の水準について

「候補者が行っている業務の水準」について質問したところ、「業務は基本的に一人で行っており、日本人の看護補助者とほぼ変わらない」46人、「日本人職員が付き添って指導すれば、どのような業務も概ね問題なく対応できる」51人、「日本人職員が付き添って指導すれば、一部の業務については、概ね問題なく対応できる」39人という回答があった。(図2-3)

(図2-3) 候補者が行っている業務の水準について

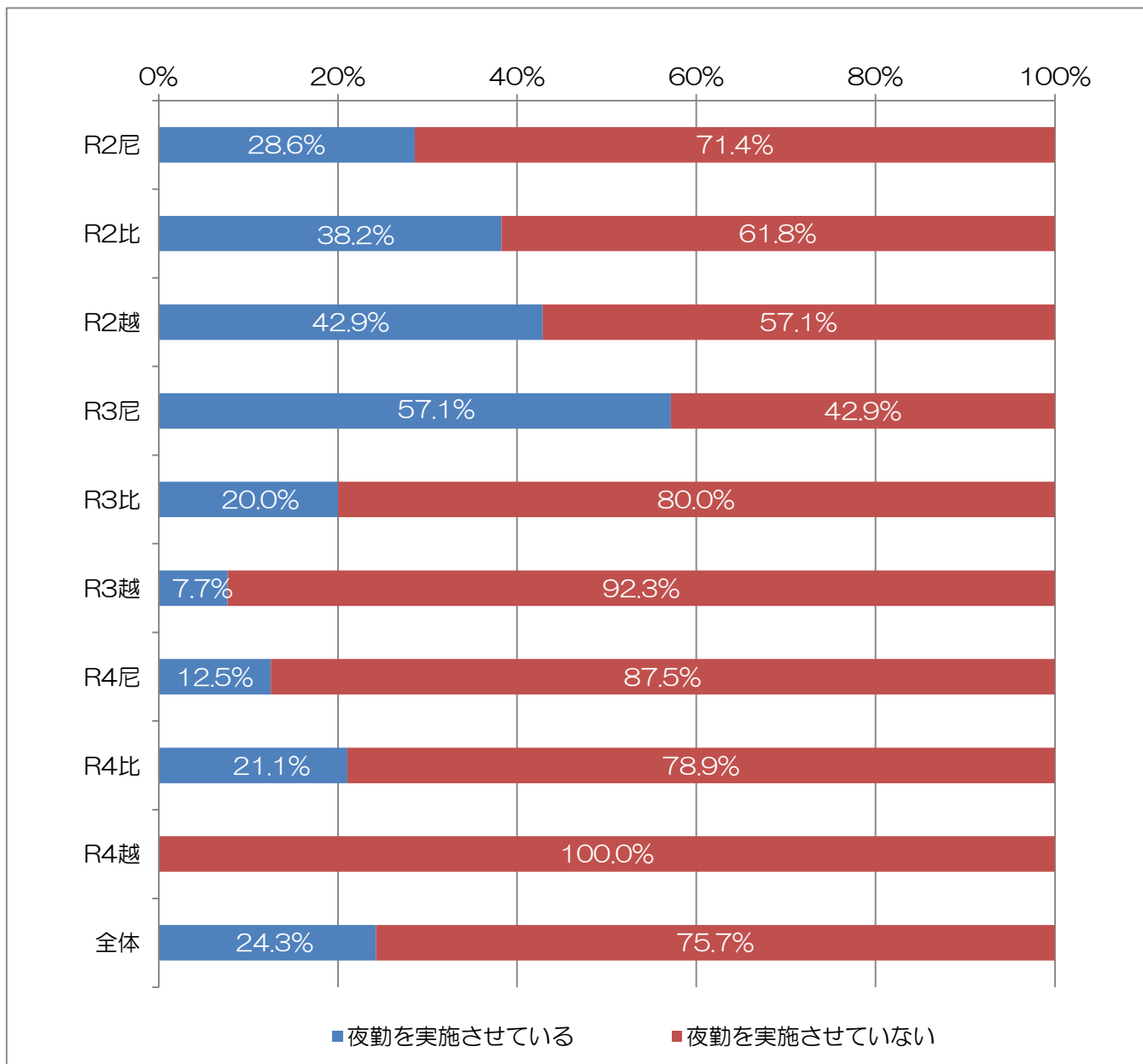


項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体
業務は基本的に一人で 行っており、日本人の 看護補助者とほぼ変わ らない	9 人 (64.3%)	15 人 (44.1%)	5 人 (71.4%)	2 人 (28.6%)	1 人 (10.0%)	5 人 (38.5%)	0 人 (0.0%)	6 人 (31.6%)	3 人 (18.8%)	46 人 (33.8%)
日本人職員が付き添っ て指導すれば、どのよ うな業務も概ね問題な く対応できる	3 人 (21.4%)	13 人 (38.2%)	2 人 (28.6%)	2 人 (28.6%)	5 人 (50.0%)	6 人 (46.2%)	7 人 (43.8%)	6 人 (31.6%)	7 人 (43.8%)	51 人 (37.5%)
日本人職員が付き添っ て指導すれば、一部の 業務については、概ね 問題なく対応できる	2 人 (14.3%)	6 人 (17.6%)	0 人 (0.0%)	3 人 (42.9%)	4 人 (40.0%)	2 人 (15.4%)	9 人 (56.3%)	7 人 (36.8%)	6 人 (37.5%)	39 人 (28.7%)
日本人職員が付き添っ て指導しても、業務の 実施が難しい	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)

④候補者の夜勤の実施状況について

「候補者の夜勤の実施状況」について質問したところ、「夜勤を実施させている」33人、「夜勤を実施させていない」103人という回答があった。(図 2-4)

(図 2-4) 候補者の夜勤の実施状況

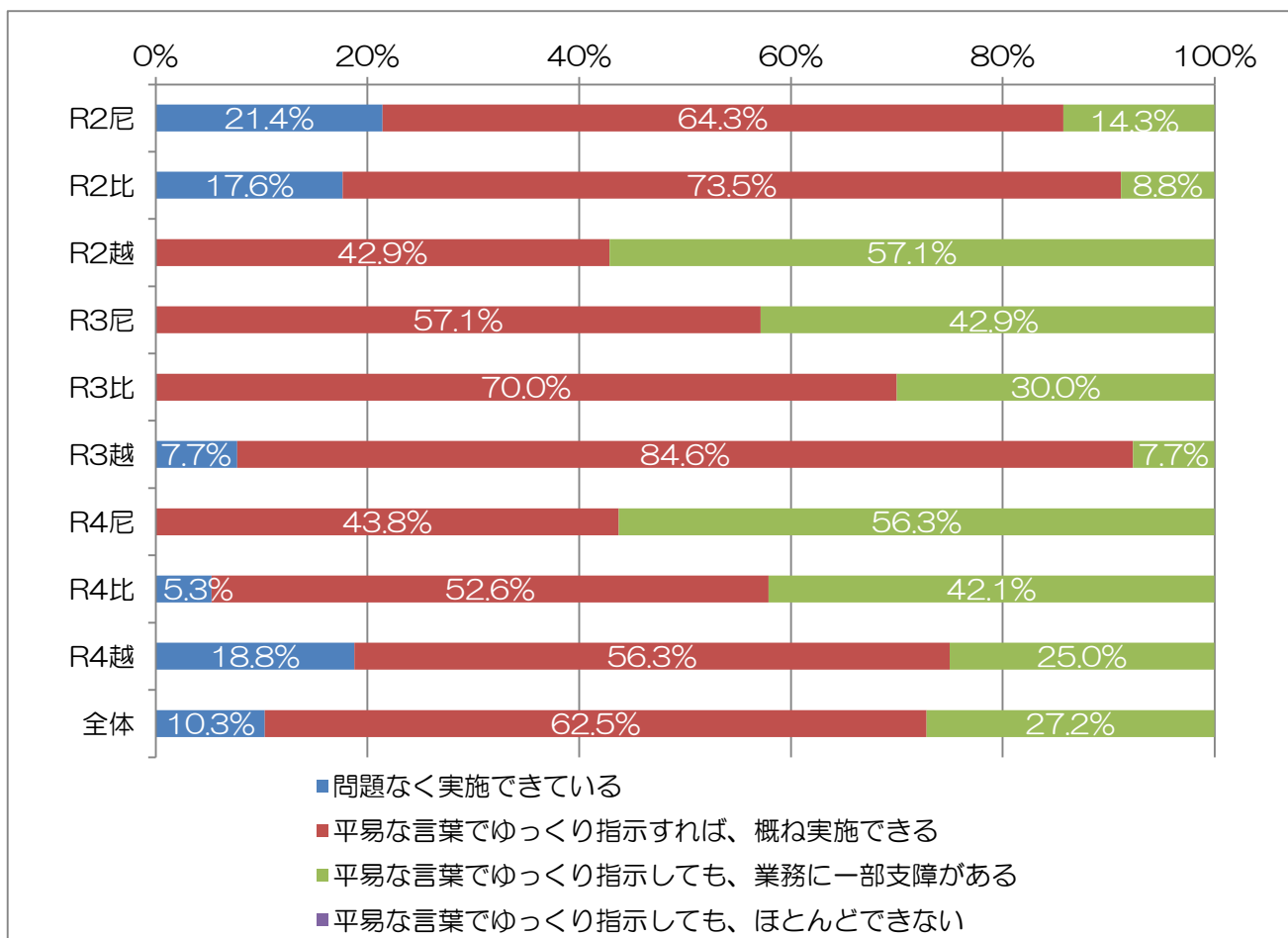


項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体
夜勤を実施させている	4人 (28.6%)	13人 (38.2%)	3人 (42.9%)	4人 (57.1%)	2人 (20.0%)	1人 (7.7%)	2人 (12.5%)	4人 (21.1%)	0人 (0.0%)	33人 (24.3%)
夜勤を実施させていない	10人 (71.4%)	21人 (61.8%)	4人 (57.1%)	3人 (42.9%)	8人 (80.0%)	12人 (92.3%)	14人 (87.5%)	15人 (78.9%)	16人 (100.0%)	103人 (75.7%)

⑤日本人職員からの指示（口頭）の理解度と指示の実施状況について

「日本人職員からの指示（口頭）の理解度と指示の実施状況」について質問したところ、「問題なく実施できている」14人、「平易な言葉でゆっくり指示すれば、概ね実施ができる」85人、「平易な言葉でゆっくり指示しても、業務に一部支障がある」37人という回答があった。（図2-5）

（図2-5）日本人職員からの指示（口頭）の理解度と指示の実施状況

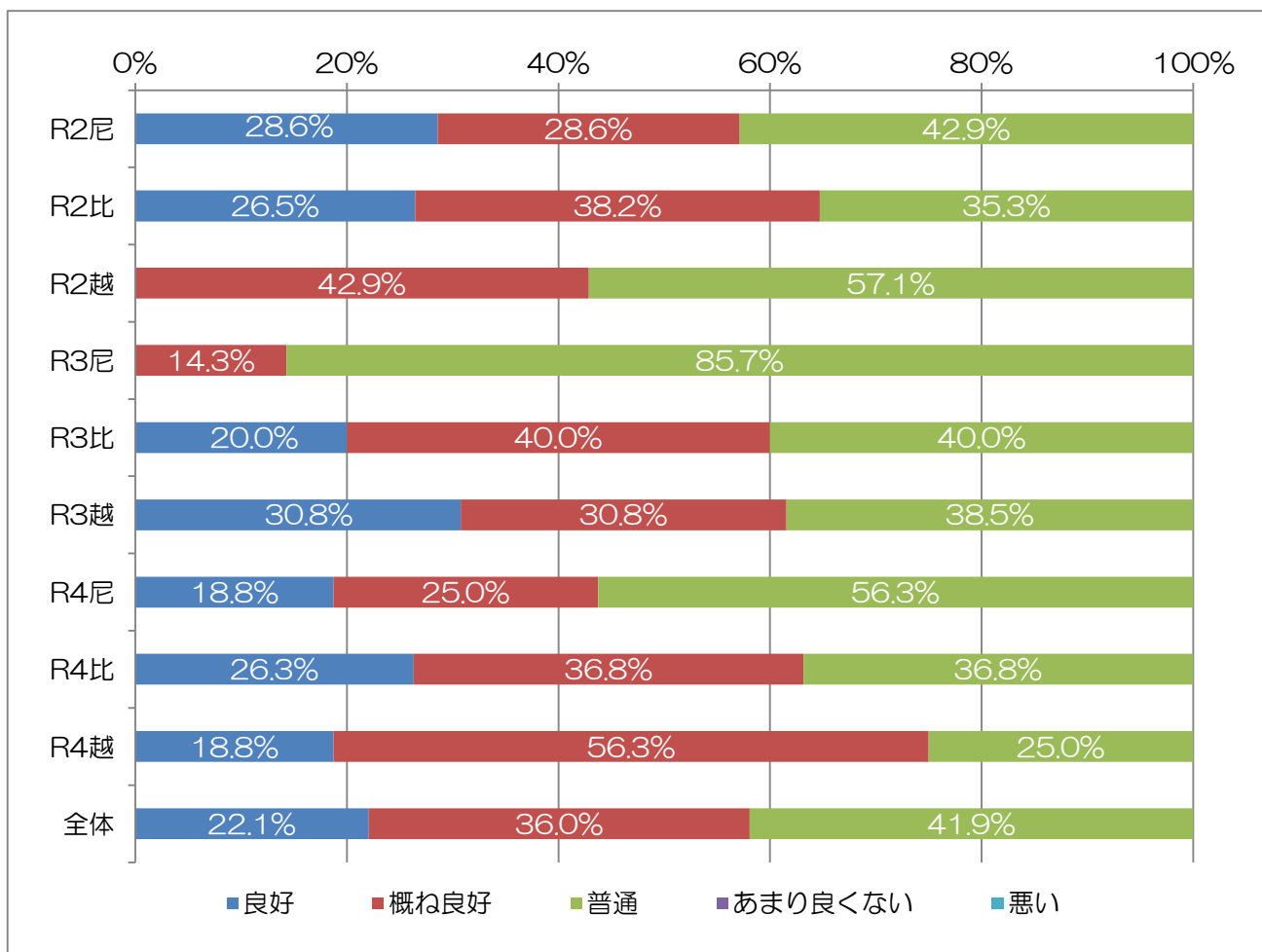


項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体
問題なく実施できている	3人 (21.4%)	6人 (17.6%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (7.7%)	0人 (0.0%)	1人 (5.3%)	3人 (18.8%)	14人 (10.3%)
平易な言葉でゆっくり指示すれば、概ね実施できる	9人 (64.3%)	25人 (73.5%)	3人 (42.9%)	4人 (57.1%)	7人 (70.0%)	11人 (84.6%)	7人 (43.8%)	10人 (52.6%)	9人 (56.3%)	85人 (62.5%)
平易な言葉でゆっくり指示しても、業務に一部支障がある	2人 (14.3%)	3人 (8.8%)	4人 (57.1%)	3人 (42.9%)	3人 (30.0%)	1人 (7.7%)	9人 (56.3%)	8人 (42.1%)	4人 (25.0%)	37人 (27.2%)
平易な言葉でゆっくり指示しても、ほとんどできない	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)

⑥候補者を受け入れたことによる患者や家族からの反応について

「候補者を受け入れたことによる患者や家族等からの反応」について質問したところ、「良好」30人、「概ね良好」49人、「普通」57人という回答があった。(図2-6)

(図2-6) 候補者を受け入れたことによる患者や家族からの反応

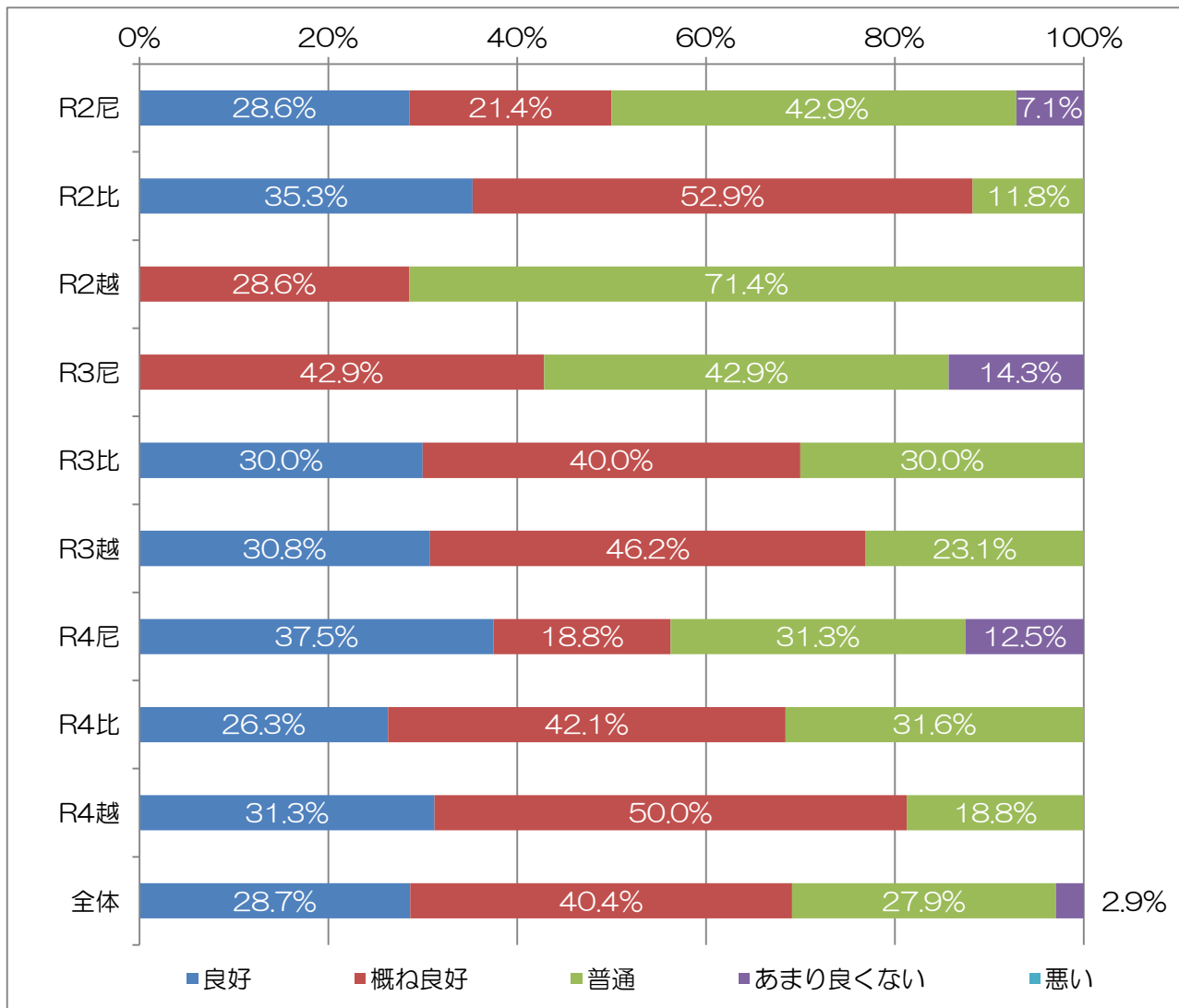


項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体
良好	4人 (28.6%)	9人 (26.5%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	2人 (20.0%)	4人 (30.8%)	3人 (18.8%)	5人 (26.3%)	3人 (18.8%)	30人 (22.1%)
概ね良好	4人 (28.6%)	13人 (38.2%)	3人 (42.9%)	1人 (14.3%)	4人 (40.0%)	4人 (30.8%)	4人 (25.0%)	7人 (36.8%)	9人 (56.3%)	49人 (36.0%)
普通	6人 (42.9%)	12人 (35.3%)	4人 (57.1%)	6人 (85.7%)	4人 (40.0%)	5人 (38.5%)	9人 (56.3%)	7人 (36.8%)	4人 (25.0%)	57人 (41.9%)
あまり良くない	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
悪い	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)

⑦候補者を受け入れたことによる所属部門の職員からの反応について

「候補者を受け入れたことによる所属部門の職員からの反応」について質問したところ、「良好」39人、「概ね良好」55人、「普通」38人、「あまり良くない」4人という回答があった。(図2-7)

(図2-7) 候補者を受け入れたことによる所属部門の職員からの反応



項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体
良好	4人 (28.6%)	12人 (35.3%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	3人 (30.0%)	4人 (30.8%)	6人 (37.5%)	5人 (26.3%)	5人 (31.3%)	39人 (28.7%)
概ね良好	3人 (21.4%)	18人 (52.9%)	2人 (28.6%)	3人 (42.9%)	4人 (40.0%)	6人 (46.2%)	3人 (18.8%)	8人 (42.1%)	8人 (50.0%)	55人 (40.4%)
普通	6人 (42.9%)	4人 (11.8%)	5人 (71.4%)	3人 (42.9%)	3人 (30.0%)	3人 (23.1%)	5人 (31.3%)	6人 (31.6%)	3人 (18.8%)	38人 (27.9%)
あまり良くない	1人 (7.1%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (14.3%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	2人 (12.5%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	4人 (2.9%)
悪い	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)

(2) 研修について

①就労時間内・外の学習時間の内訳について⁹

「候補者の週あたりの学習時間」について質問したところ、「就労時間内の1週間の平均学習時間」は11.8時間、「就労時間外の1週間の平均学習時間」は5.5時間、「就労時間内・外合計の平均学習時間」は17.4時間であった。なお、就労時間外の学習時間については、自宅や寮での自習等は除く。

ア. 施設内における就労時間内 1週間あたりの平均学習回数、平均学習時間

項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体 ¹⁰
候補者数(人)	14	34	7	7	10	13	16	19	16	136
学習平均回数(回)	3.4	3.4	3.5	3.1	3.8	3.4	3.4	3.8	4.2	3.6
学習合計平均時間(時間)	9.4	10.8	15.7	12.9	14.3	12.9	8.0	10.6	16.8	11.8

イ. 施設内における就労時間外 1週間あたりの平均学習回数、平均学習時間

項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体 ¹⁰
候補者数(人)	14	34	7	7	10	13	16	19	16	136
学習平均回数(回)	2.2	1.9	2.1	3.4	2.1	3.0	2.7	1.4	1.8	2.2
学習合計平均時間(時間)	5.8	3.6	7.3	7.6	4.4	10.0	6.4	2.6	7.6	5.5

ウ (ア+イ). 施設内における就労時間内・外合計 1週間あたりの平均学習回数、平均学習時間

項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体 ¹⁰
候補者数(人)	14	34	7	7	10	13	16	19	16	136
学習平均回数(回)	5.6	5.4	5.5	6.6	5.9	6.5	6.1	5.2	6.0	5.7
学習合計平均時間(時間)	15.1	14.4	23.0	20.5	18.7	22.8	14.4	13.2	24.4	17.4

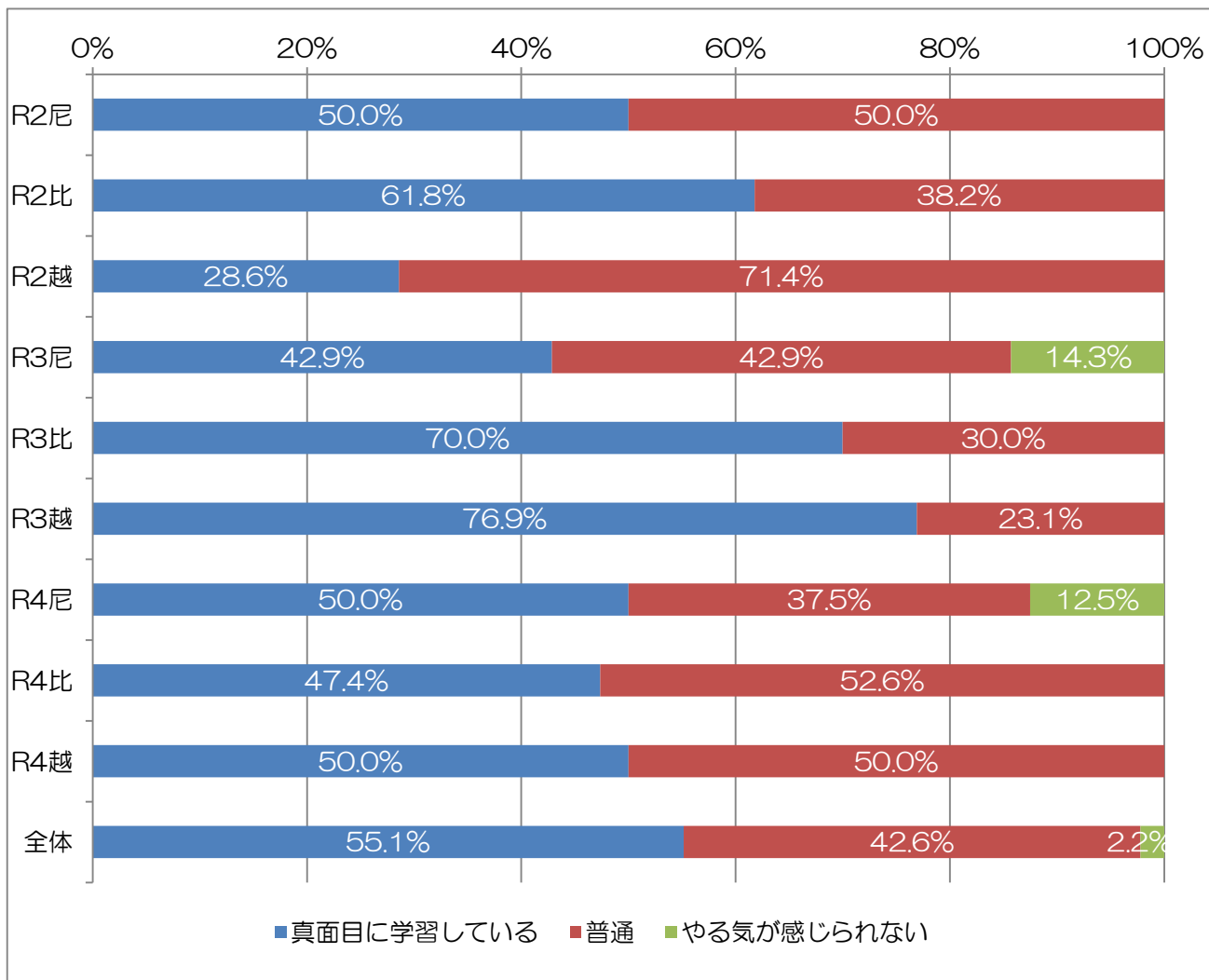
⁹ 計算方法は、就労時間内外それぞれの合計時間を各年度の候補者総数で割っている。

¹⁰ 「全体」の数値は候補者全数を母数に学習回数・学習時間の総合計から算出している為、年度ごとの平均値から全体の平均値を算出した場合とは数値が異なり得る。

②候補者の学習態度について

「候補者の学習態度」について質問したところ、「真面目に学習している」75人、「普通」58人、「やる気が感じられない」3人という回答があった。(図2-8)

(図2-8) 候補者の学習態度

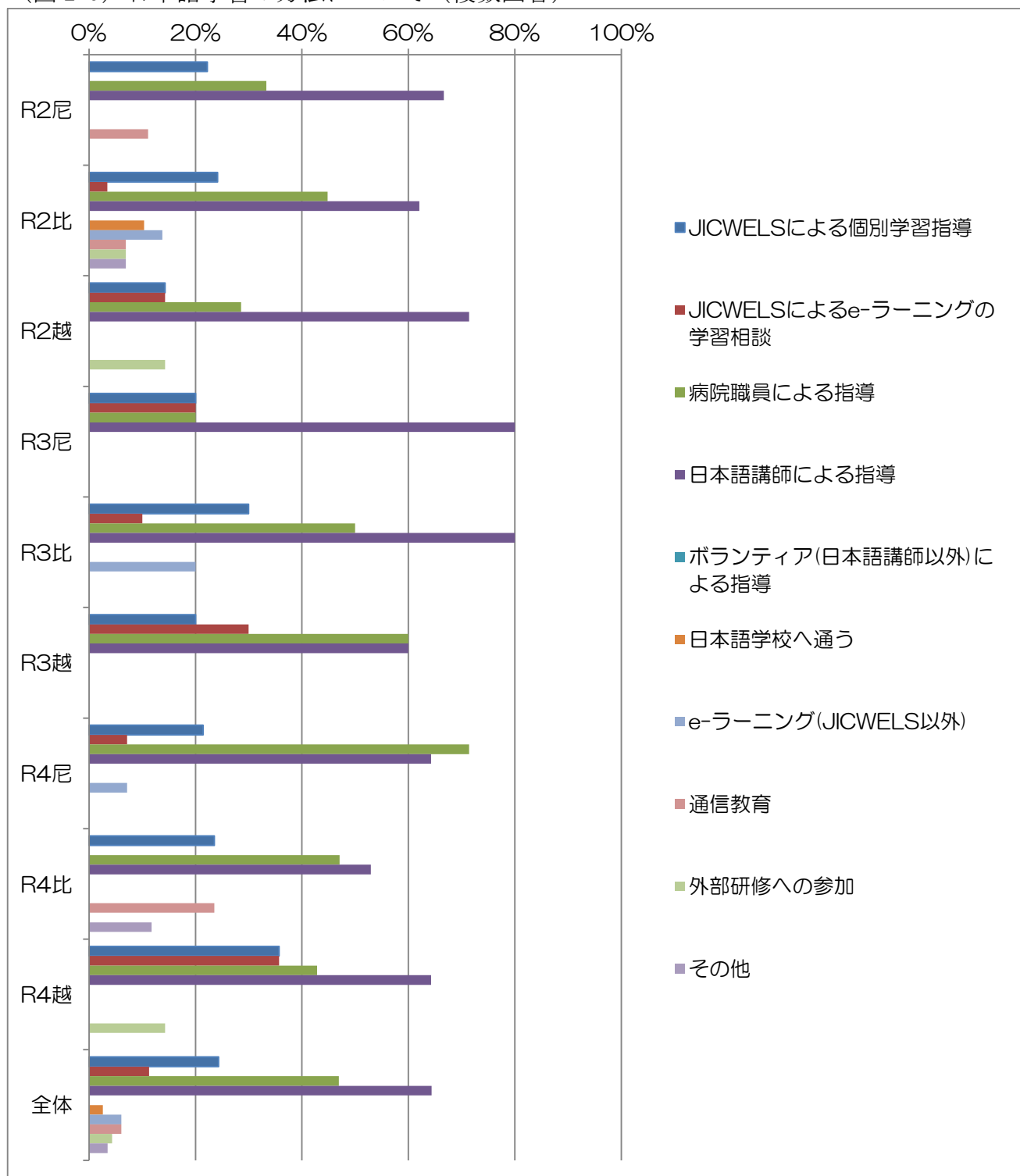


項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体
真面目に学習している	7人 (50.0%)	21人 (61.8%)	2人 (28.6%)	3人 (42.9%)	7人 (70.0%)	10人 (76.9%)	8人 (50.0%)	9人 (47.4%)	8人 (50.0%)	75人 (55.1%)
普通	7人 (50.0%)	13人 (38.2%)	5人 (71.4%)	3人 (42.9%)	3人 (30.0%)	3人 (23.1%)	6人 (37.5%)	10人 (52.6%)	8人 (50.0%)	58人 (42.6%)
やる気が感じられない	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (14.3%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	2人 (12.5%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	3人 (2.2%)

(3) 日本語学習について

「日本語学習の方法」について質問したところ、「日本語講師による指導」という回答が74人と最も多く、次いで「病院職員による指導」54人、「JICWELSによる個別学習指導」28人、「JICWELSによるe-ラーニングの学習相談」13人という回答があった。(図2-9)

(図2-9) 日本語学習の方法について(複数回答)



項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体 ¹¹
JICWELS による個別学習指導	2人 (22.2%)	7人 (24.1%)	1人 (14.3%)	1人 (20.0%)	3人 (30.0%)	2人 (20.0%)	3人 (21.4%)	4人 (23.5%)	5人 (35.7%)	28人 (24.3%)
JICWELS によるe-ラーニングの学習相談	0人 (0.0%)	1人 (3.4%)	1人 (14.3%)	1人 (20.0%)	1人 (10.0%)	3人 (30.0%)	1人 (7.1%)	0人 (0.0%)	5人 (35.7%)	13人 (11.3%)
病院職員による指導	3人 (33.3%)	13人 (44.8%)	2人 (28.6%)	1人 (20.0%)	5人 (50.0%)	6人 (60.0%)	10人 (71.4%)	8人 (47.1%)	6人 (42.9%)	54人 (47.0%)
日本語講師による指導	6人 (66.7%)	18人 (62.1%)	5人 (71.4%)	4人 (80.0%)	8人 (80.0%)	6人 (60.0%)	9人 (64.3%)	9人 (52.9%)	9人 (64.3%)	74人 (64.3%)
ボランティア(日本語講師以外)による指導	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
日本語学校へ通う ¹²	0人 (0.0%)	3人 (10.3%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	3人 (2.6%)
e-ラーニング(JICWELS 以外)	0人 (0.0%)	4人 (13.8%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	2人 (20.0%)	0人 (0.0%)	1人 (7.1%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	7人 (6.1%)
通信教育	1人 (11.1%)	2人 (6.9%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	4人 (23.5%)	0人 (0.0%)	7人 (6.1%)
外部研修への参加	0人 (0.0%)	2人 (6.9%)	1人 (14.3%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	2人 (14.3%)	5人 (4.3%)
その他 ¹³	0人 (0.0%)	2人 (6.9%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	2人 (11.8%)	0人 (0.0%)	4人 (3.5%)

¹¹ 母数は、施設の指導により、または一部施設指導一部自己学習により当該学習を行っている候補者数。

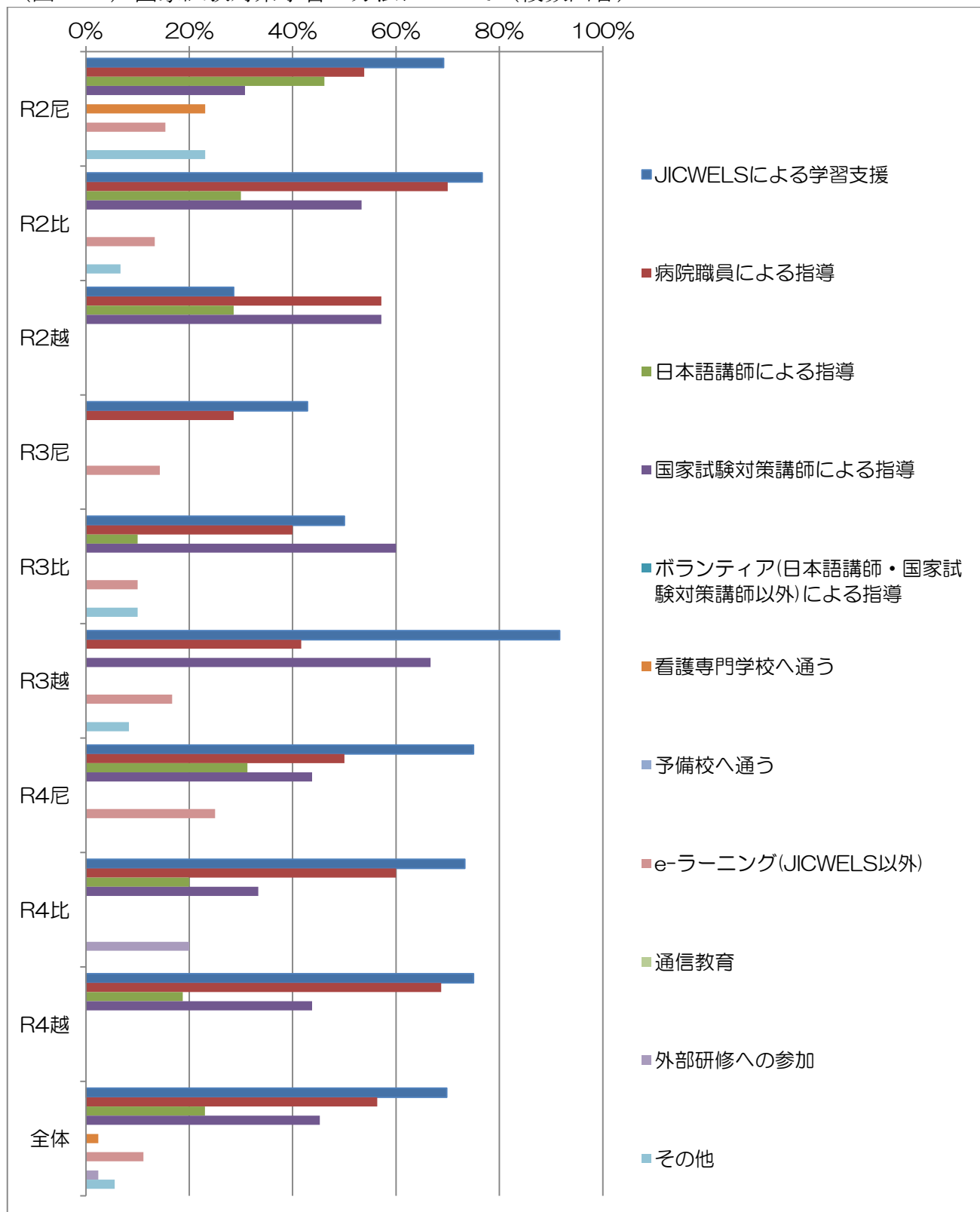
¹² オンライン授業の受講も含む。

¹³ その他の回答として「日記の活用」、「地域の行事等の活用」等の回答があった。

(4) 国家試験対策学習の方法について

「国家試験対策の学習方法」について質問したところ、「JICWELS による学習支援」88 人と最も多く、次いで「病院職員による指導」71 人という回答があった。(図 2-10)

(図 2-10) 国家試験対策学習の方法について (複数回答)



項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体 ¹⁴
JICWELS による学習支援	9人 (69.2%)	23人 (76.7%)	2人 (28.6%)	3人 (42.9%)	5人 (50.0%)	11人 (91.7%)	12人 (75.0%)	11人 (73.3%)	12人 (75.0%)	88人 (69.8%)
病院職員による指導	7人 (53.8%)	21人 (70.0%)	4人 (57.1%)	2人 (28.6%)	4人 (40.0%)	5人 (41.7%)	8人 (50.0%)	9人 (60.0%)	11人 (68.8%)	71人 (56.3%)
日本語講師による指導	6人 (46.2%)	9人 (30.0%)	2人 (28.6%)	0人 (0.0%)	1人 (10.0%)	0人 (0.0%)	5人 (31.3%)	3人 (20.0%)	3人 (18.8%)	29人 (23.0%)
国家試験対策講師による指導	4人 (30.8%)	16人 (53.3%)	4人 (57.1%)	0人 (0.0%)	6人 (60.0%)	8人 (66.7%)	7人 (43.8%)	5人 (33.3%)	7人 (43.8%)	57人 (45.2%)
ボランティア(●以外)による指導	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
看護専門学校へ通う	3人 (23.1%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	3人 (2.4%)
予備校へ通う	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
e-ラーニング(JICWELS 以外)	2人 (15.4%)	4人 (13.3%)	0人 (0.0%)	1人 (14.3%)	1人 (10.0%)	2人 (16.7%)	4人 (25.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	14人 (11.1%)
通信教育	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
外部研修への参加	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	3人 (20.0%)	0人 (0.0%)	3人 (2.4%)
その他 ¹⁵	3人 (23.1%)	2人 (6.7%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (10.0%)	1人 (8.3%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	7人 (5.6%)

●…日本語講師・国家試験対策講師

¹⁴ 母数は、施設の指導により、または一部施設指導一部自己学習により当該学習を行っている候補者数。

¹⁵ その他の回答として「国家試験対策アプリケーションの活用」、「模擬試験の活用」等の回答があった。

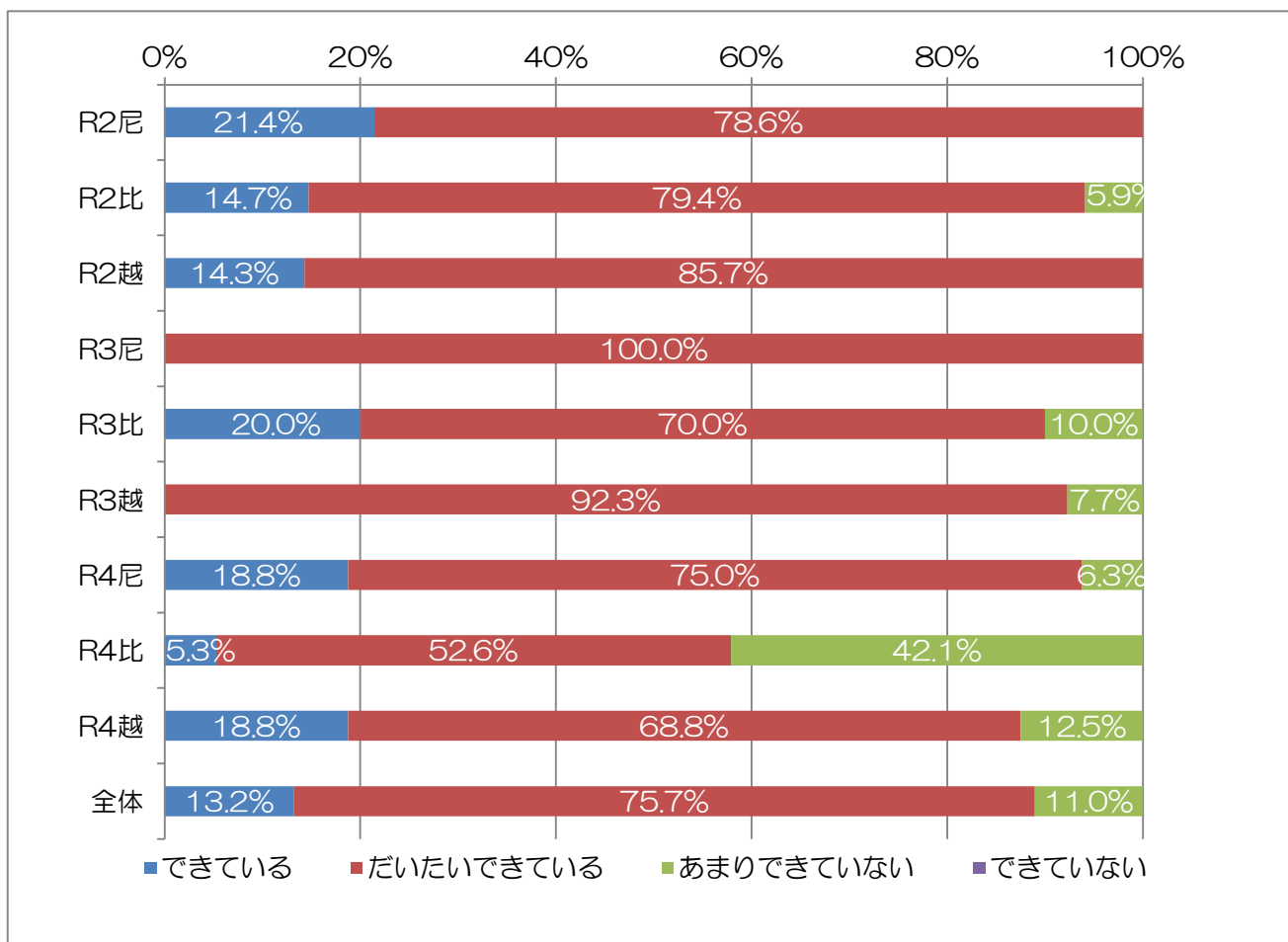
4. 看護師候補者への質問

(1) 就労研修について

①患者、日本人スタッフ等との日本語によるコミュニケーションについて

「患者、日本人スタッフ等との日本語によるコミュニケーション」について質問したところ、「できている」18人、「だいたいできている」103人、「あまりできていない」15人という回答があった。(図3-1)

(図3-1) 患者、日本人スタッフ等との日本語によるコミュニケーション

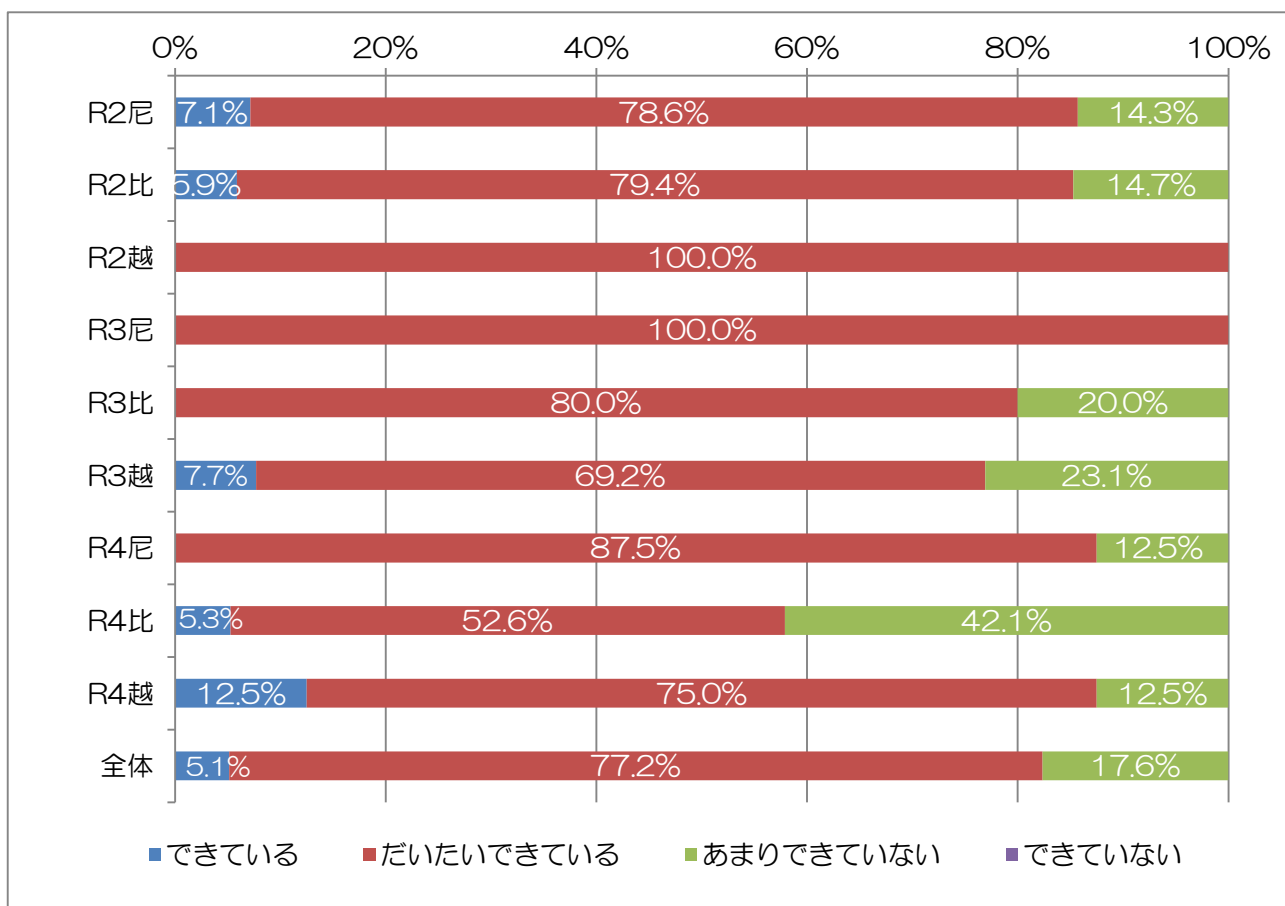


項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体
できている	3人 (21.4%)	5人 (14.7%)	1人 (14.3%)	0人 (0.0%)	2人 (20.0%)	0人 (0.0%)	3人 (18.8%)	1人 (5.3%)	3人 (18.8%)	18人 (13.2%)
だいたい できている	11人 (78.6%)	27人 (79.4%)	6人 (85.7%)	7人 (100.0%)	7人 (70.0%)	12人 (92.3%)	12人 (75.0%)	10人 (52.6%)	11人 (68.8%)	103人 (75.7%)
あまりでき ていない	0人 (0.0%)	2人 (5.9%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (10.0%)	1人 (7.7%)	1人 (6.3%)	8人 (42.1%)	2人 (12.5%)	15人 (11.0%)
できていない	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)

②日本語の文字によるコミュニケーションについて

「日本語の文字によるコミュニケーション」について質問したところ、「できている」7人、「だいたいできている」105人、「あまりできていない」24人という回答があった。(図3-2)

(図 3-2) 日本語の文字によるコミュニケーション

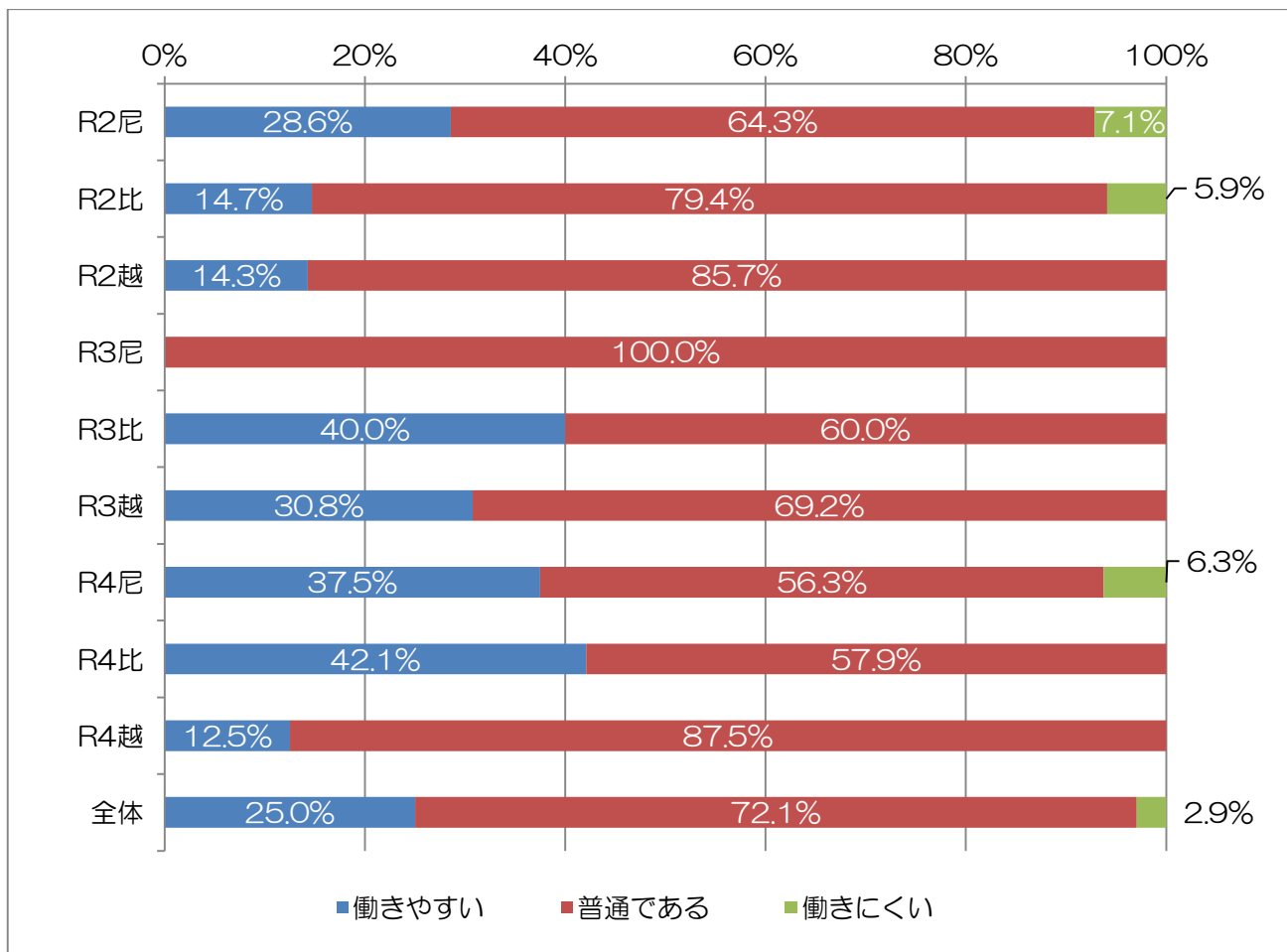


項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体
できている	1人 (7.1%)	2人 (5.9%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (7.7%)	0人 (0.0%)	1人 (5.3%)	2人 (12.5%)	7人 (5.1%)
だいたいできている	11人 (78.6%)	27人 (79.4%)	7人 (100.0%)	7人 (100.0%)	8人 (80.0%)	9人 (69.2%)	14人 (87.5%)	10人 (52.6%)	12人 (75.0%)	105人 (77.2%)
あまりできていない	2人 (14.3%)	5人 (14.7%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	2人 (20.0%)	3人 (23.1%)	2人 (12.5%)	8人 (42.1%)	2人 (12.5%)	24人 (17.6%)
できていない	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)

③現在の就労環境について

「現在の就労環境」について質問したところ、「働きやすい」34人、「普通である」98人、「働きにくい」4人という回答があった。(図3-3)

(図3-3) 現在の就労環境



項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体
働きやすい	4人 (28.6%)	5人 (14.7%)	1人 (14.3%)	0人 (0.0%)	4人 (40.0%)	4人 (30.8%)	6人 (37.5%)	8人 (42.1%)	2人 (12.5%)	34人 (25.0%)
普通である	9人 (64.3%)	27人 (79.4%)	6人 (85.7%)	7人 (100.0%)	6人 (60.0%)	9人 (69.2%)	9人 (56.3%)	11人 (57.9%)	14人 (87.5%)	98人 (72.1%)
働きにくい	1人 (7.1%)	2人 (5.9%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (6.3%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	4人 (2.9%)

④週の学習時間について¹⁶

「週の学習時間」について質問したところ、「施設内における週の学習時間」は平均 11.5 時間、「自宅における週の学習時間」は平均 15.0 時間であった。

ア. 施設内における 1 週間あたりの平均学習時間

項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体 ¹⁵¹⁷
候補者数(人)	14	34	7	7	10	12	15	17	16	132
週あたり 平均学習時間(時間)	14.4	10.0	13.3	9.7	15.1	8.8	10.5	9.5	15.1	11.5

イ. 自宅における 1 週間あたりの平均学習時間

項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体 ¹⁵¹⁷
候補者数(人)	13	32	7	7	10	13	16	17	16	131
週あたり 平均学習時間(時間)	17.5	13.5	18.7	15.4	16.2	18.7	12.1	9.1	19.4	15.0

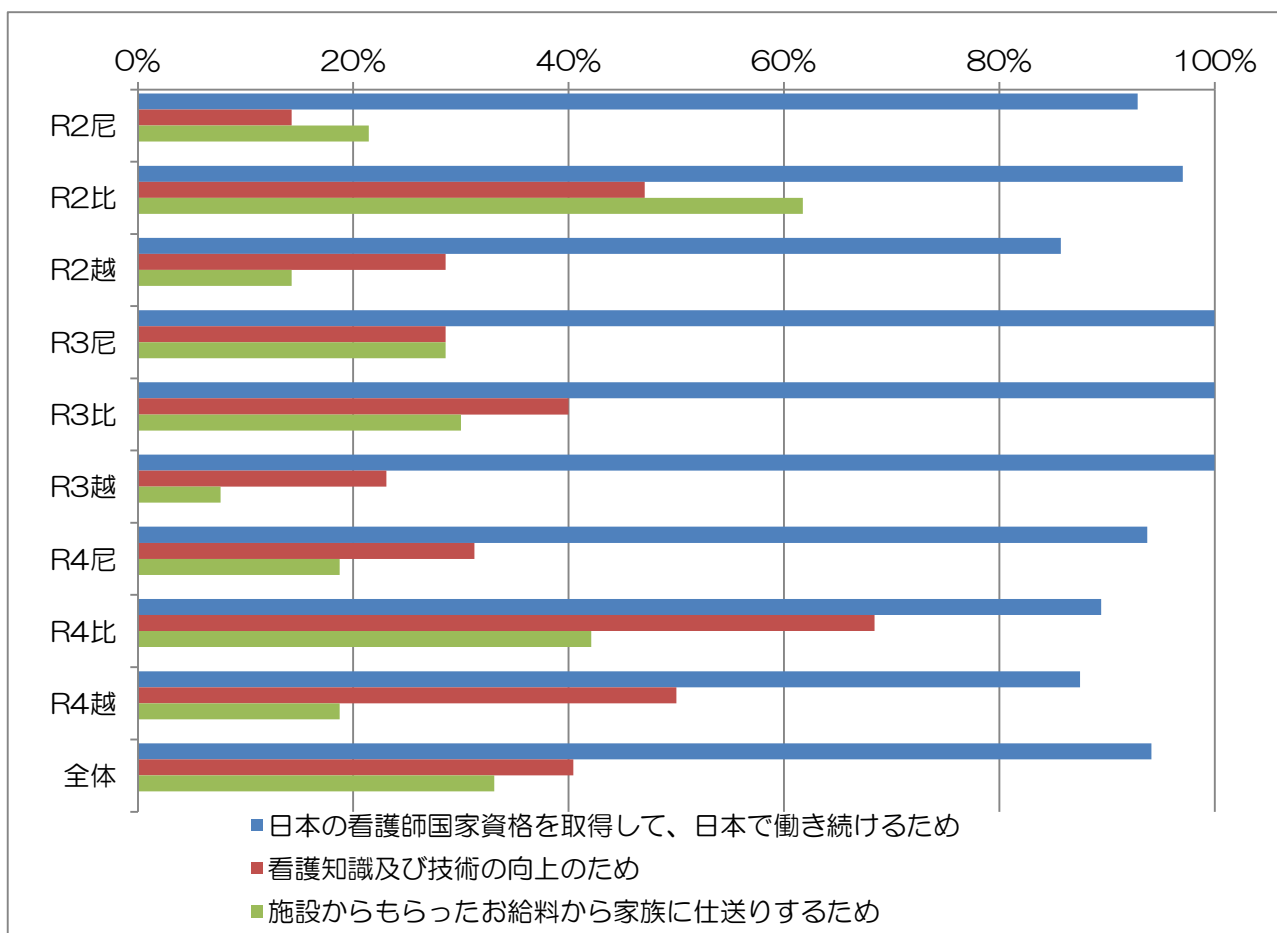
¹⁶ 平均学習時間を算出する際の母数は、学習時間の回答があった候補者数。

¹⁷ 「全体」の数値は学習時間の記入があった全候補者を母数に学習時間の総合計から算出している為、年度ごとの平均値から全体の平均値を算出した場合とは数値が異なり得る

⑤日本に来た主な目的

「日本に来た主な目的」について質問したところ、「日本の看護師国家資格を取得して、日本で働き続けるため」128人、「看護知識及び技術向上のため」55人、「施設からもらったお給料から家族に仕送りするため」45人という回答があった。(図3-4)

(図3-4) 日本に来た主な目的 (複数回答)



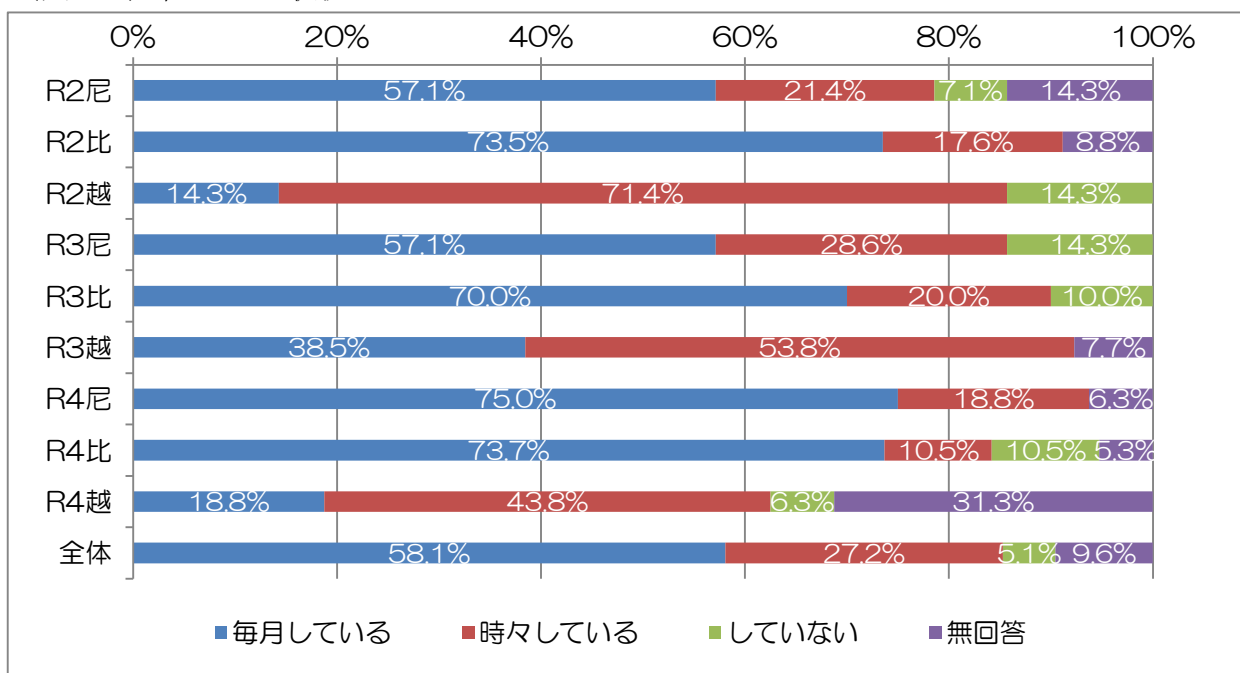
項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体
日本の看護師国家資格を取得して、日本で働き続けるため	13人 (92.9%)	33人 (97.1%)	6人 (85.7%)	7人 (100.0%)	10人 (100.0%)	13人 (100.0%)	15人 (93.8%)	17人 (89.5%)	14人 (87.5%)	128人 (94.1%)
看護知識及び技術の向上のため	2人 (14.3%)	16人 (47.1%)	2人 (28.6%)	2人 (28.6%)	4人 (40.0%)	3人 (23.1%)	5人 (31.3%)	13人 (68.4%)	8人 (50.0%)	55人 (40.4%)
施設からもらったお給料から家族に仕送りするため	3人 (21.4%)	21人 (61.8%)	1人 (14.3%)	2人 (28.6%)	3人 (30.0%)	1人 (7.7%)	3人 (18.8%)	8人 (42.1%)	3人 (18.8%)	45人 (33.1%)

(2) 候補者の生活について

①母国への仕送りについて

「母国への仕送り」について質問したところ、「毎月している」79人、「時々している」37人、「していない」7人、「無回答（答えたくない）」13人という回答があった。（図3-5）
また、仕送り金額の平均は下記の「平均仕送り額」の通りである。

(図3-5) 仕送りの状況



項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体
毎月している	8人 (57.1%)	25人 (73.5%)	1人 (14.3%)	4人 (57.1%)	7人 (70.0%)	5人 (38.5%)	12人 (75.0%)	14人 (73.7%)	3人 (18.8%)	79人 (58.1%)
時々している	3人 (21.4%)	6人 (17.6%)	5人 (71.4%)	2人 (28.6%)	2人 (20.0%)	7人 (53.8%)	3人 (18.8%)	2人 (10.5%)	7人 (43.8%)	37人 (27.2%)
していない	1人 (7.1%)	0人 (0.0%)	1人 (14.3%)	1人 (14.3%)	1人 (10.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	2人 (10.5%)	1人 (6.3%)	7人 (5.1%)
無回答	2人 (14.3%)	3人 (8.8%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (7.7%)	1人 (6.3%)	1人 (5.3%)	5人 (31.3%)	13人 (9.6%)

平均仕送り額（万円）¹⁸

項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体 ¹⁹
毎月仕送り	6.0	7.6	12.0	5.8	5.7	8.6	15.5	9.2	6.0	8.8
時々仕送り	5.0	6.0	20.6	17.5	25.0	15.0	4.0	4.0	9.3	11.6

②賃金明細の事前説明の有無と理解度について

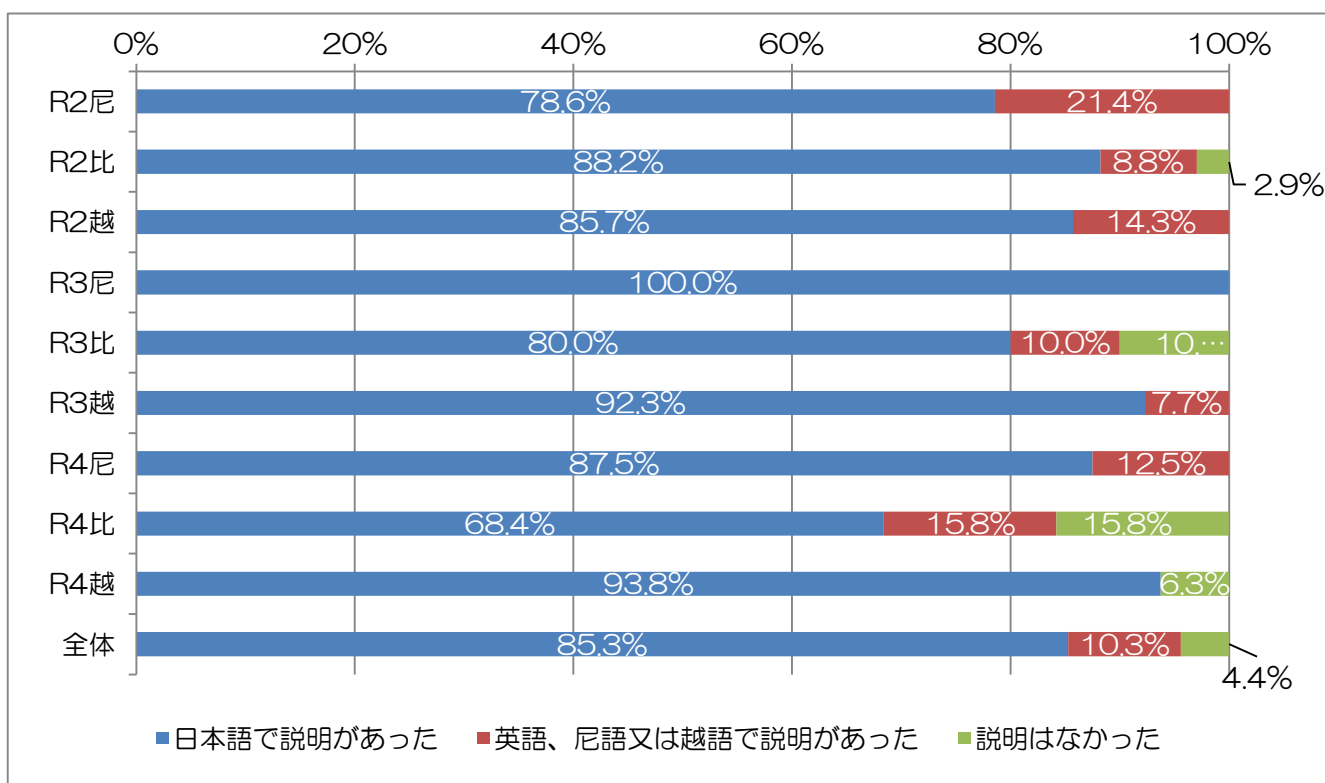
¹⁸ 「毎月」又は「時々」いずれかの仕送り額の開示があった候補者数を母数として算出している。

¹⁹ 「全体」の数値は金額開示を行った全候補者を母数に金額の総合計から算出している為、年度ごとの平均値から全体の平均値を算出した場合とは数値が異なり得る。

「賃金の明細内容の事前説明の有無」について質問したところ、「日本語で説明があった」116人、「英語又は尼語又は越語で説明があった」14人、「説明はなかった」6人という回答があった。賃金明細の事前説明について、「説明はなかった」と回答した場合には、施設担当者へ共有し、候補者に対し賃金明細内容の説明をするよう助言した。(図3-6)

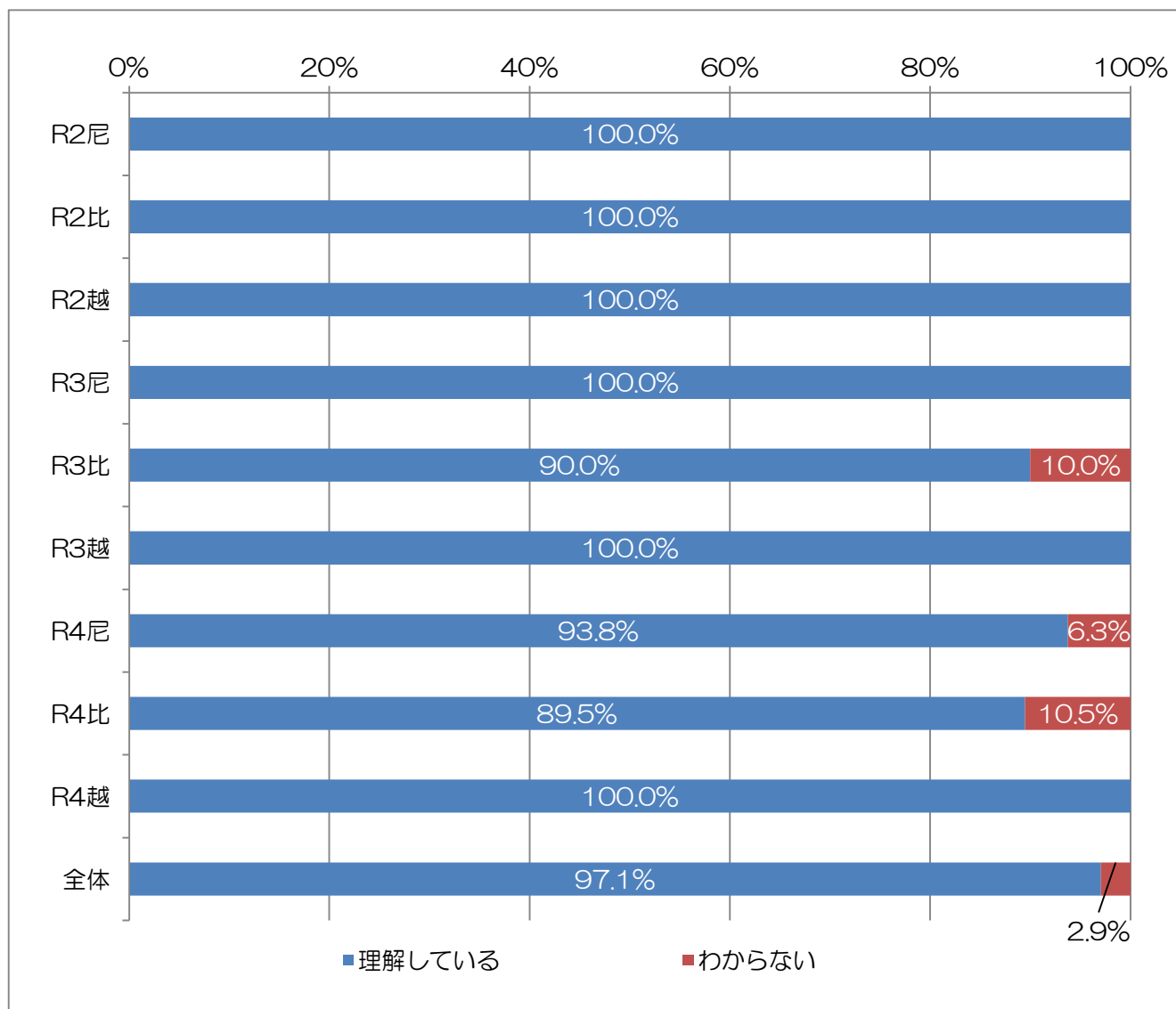
また、「賃金明細の理解度」について質問したところ、「理解している」132人、「わからない」4人という回答があった。賃金明細について、「わからない」と回答した場合も同様に、施設担当者へ共有し、候補者に対し賃金明細内容の再説明をするよう助言した。(図3-7)

(図3-6) 賃金明細の事前説明



項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体
日本語で説明があった	11人 (78.6%)	30人 (88.2%)	6人 (85.7%)	7人 (100.0%)	8人 (80.0%)	12人 (92.3%)	14人 (87.5%)	13人 (68.4%)	15人 (93.8%)	116人 (85.3%)
英語又は尼語又は越語で説明があった	3人 (21.4%)	3人 (8.8%)	1人 (14.3%)	0人 (0.0%)	1人 (10.0%)	1人 (7.7%)	2人 (12.5%)	3人 (15.8%)	0人 (0.0%)	14人 (10.3%)
説明はなかった	0人 (0.0%)	1人 (2.9%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (10.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	3人 (15.8%)	1人 (6.3%)	6人 (4.4%)

(図 3-7) 貸金明細の理解度

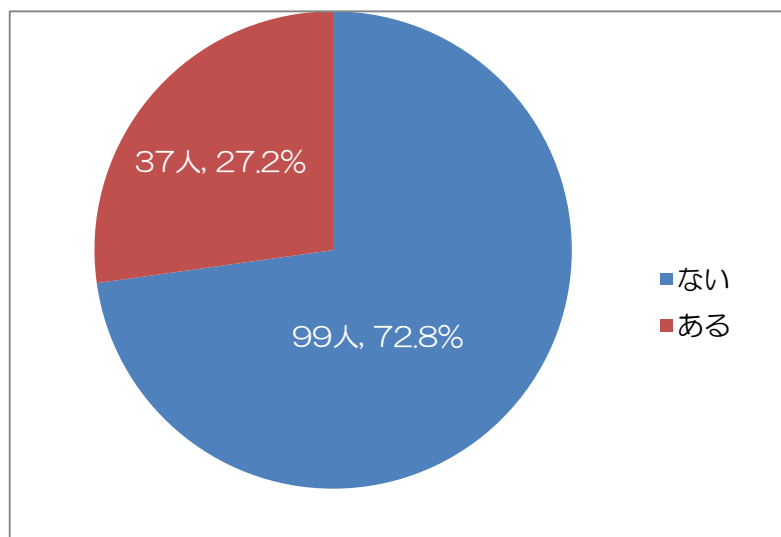


項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体
理解している	14人 (100.0%)	34人 (100.0%)	7人 (100.0%)	7人 (100.0%)	9人 (90.0%)	13人 (100.0%)	15人 (93.8%)	17人 (89.5%)	16人 (100.0%)	132人 (97.1%)
わからない	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (10.0%)	0人 (0.0%)	1人 (6.3%)	2人 (10.5%)	0人 (0.0%)	4人 (2.9%)

③健康状態について

「健康状態」について質問したところ、「具合の悪いところはない」99人、「具合の悪いところはある」37²⁰人という回答があった。(図3-8)

(図3-8) 健康状態



²⁰ 「具合が悪い」主な部位としては、「腰」、「肩」、「足」、「背中」、「頭」等の回答があった。なお、「具合が悪い箇所がある」と回答した場合には、本人の同意のもと施設担当者へ共有し、対応を促した。

(3) 身分証明書等の管理について

「パスポートの保管状況」、「在留カードの携帯状況」、「在留資格の更新の状況」について質問した。

「パスポートの保管状況」については、全候補者が自身で保管していることが確認できた。

「在留カードの携帯状況」については、全候補者が毎日携帯していることが確認できた。

①パスポートの保管について

項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体
自分で保管	14 人 (100.0%)	34 人 (100.0%)	7 人 (100.0%)	7 人 (100.0%)	10 人 (100.0%)	13 人 (100.0%)	16 人 (100.0%)	19 人 (100.0%)	16 人 (100.0%)	136 人 (100.0%)
施設が保管	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)

②在留カードの携帯について

項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体
毎日携帯	14 人 (100.0%)	34 人 (100.0%)	7 人 (100.0%)	7 人 (100.0%)	10 人 (100.0%)	13 人 (100.0%)	16 人 (100.0%)	19 人 (100.0%)	16 人 (100.0%)	136 人 (100.0%)
携帯していない	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)

③ 当年度の在留資格の更新について

項目	R2 尼	R2 比	R2 越	R3 尼	R3 比	R3 越	R4 尼	R4 比	R4 越	全体
はい	9 人 (64.3%)	33 人 (97.1%)	6 人 (85.7%)	6 人 (85.7%)	7 人 (70.0%)	10 人 (76.9%)	15 人 (93.8%)	19 人 (100.0%)	16 人 (100.0%)	121 人 (89.0%)
今後行う予定	5 人 (35.7%)	1 人 (2.9%)	1 人 (14.3%)	1 人 (14.3%)	3 人 (30.0%)	3 人 (23.1%)	1 人 (6.3%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	15 人 (11.0%)
いいえ	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)

以上